京城日報

十二日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金一圓 ▲郵税共 ▲三ヶ月前金 ▲六ヶ月前金
廣告料金 行詰七字詰 ▲五號 ▲四號 ▲六號
發行兼編輯人 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 振替口座京城三〇〇番

◎事實上獨の植民地

駐露獨逸大使對露國人民代表者委員會最後通牒

駐露獨逸大使ミルバハ氏は露國人民代表者委員會に對し最後通牒を發し事實に於て結局露國をして獨逸の一植民地たらしむるに至れるが經濟政策に對し直に讓歩せん事を要求せり右要求中には俘虜交換に關する問題の急速解決並に最近編成されたる軍隊の完全なる武裝解除及び解隊を含み居れるが獨逸の要求中最も主要なるものは大露西亞の都市莫斯科其他の占領にあり(莫斯科特電)

◎過激派庫倫侵入

庫倫都護使陳毅氏より恰克圖を占領せし露國過激派軍隊は庫倫に侵入し來れるが防禦の方法無く支那商十七軒は家財を沒收されたりとの電報ありたり(北京特電)

◎ヒ元帥非難さる

ヒ、ル兩元帥意見衝突

ヘーグ來電=西部戰場にて獨軍が成功を收めしに拘らず軍略上過誤の結果其効果を齎すに至らざりしこの理由にて多數の士官はヒンデンブルグ元帥に對し非難攻擊を加へつゝありと報せらる又ルーデンドルフ元帥とヒンデンブルグ元帥との間に激烈なる意見の衝突ありたるがヒンデンブルグ元帥には皇太子、キユールマン、ヘルトリング等の後援あり(倫敦電報)

◎英海軍 オステンド封鎖

英國海軍省公報=英國海軍はオステンドを襲擊し同港を封鎖するため老朽巡洋艦ヴインジクチーブ號にコンクリートを積み見事に同港入口に沈めたり尚ほ英國海軍側の損害は輕微にして汽艇一隻は敵のために捕獲されんとしたるより自ら爆沈したり(桑港電報)

◎獨帝講和條約滿足

獨逸皇帝は羅馬尼との講和條約締結に對し大滿足の意を表し外相キユールマン氏に王冠章を、宰相ヘルトリング伯に鐵十字章を授與せり(倫敦電報)

◎學士院賞章授與式

帝國學士院にては十二日午前十時より美術學校講堂にて既報和田英松、木村泰賢、柴田桂太の三氏に恩賜賞、桂田富士郎、瀧本精一氏に學士院賞、藤浪鑑氏に桂公爵記念章の授與式を擧行せり(東京特電)

◎英國政府銀塊購入

十一日紐育入電=英國政府は米國より四百萬オンスの銀塊を購入せりと(大阪特電)

◎石油又復値上

スタンダード石油會社上松、勝利各一箱又復十錢宛値上せるが是れにて上松七圓六十四錢勝利七圓五十六錢となれり(大阪特電)

◎日郵配當五割

日本郵船會社當半期の配當は取締役會にて前半期同樣五割と決定せり(東京特電)

◎八日市飛行場

滋賀縣八日市飛行場を陸軍飛行場に引直しの議起り同町其他町村にて五十萬圓寄附に決せり(八日市特電)

◎中村都督來期

中村關東都督一行は十三日午前六時半著安東夜七時半發列車にて京城に向ふ筈(安東特電)

◎總督北巡

—視察詳報—

▲清津着 長谷川總督一行の搭乘せる光濟丸は八日午後二時元山より入港するや浦野警務部長を初め三田一部長、吉田府尹、葛城署長、有馬同憲兵分隊長、高橋旅團高級副官等は警察署小蒸汽船及び運輸部汽艇に分乘して光濟丸に迎へたるが長谷川總督は隨行の古海參務總長、持地遞信局長官、小原農商工部長官、釜屋武官、佐藤軍醫監、山本軍參謀、齋藤大島兩副官、神田秘書官、藤波通譯官、小山田憲兵大尉以下屬官數名と共に運輸部汽艇に移乘し陸軍埠頭に上陸整列せる出迎人に會釋しつゝ有馬同分隊長葛城署長等の先導にて徒歩旅館雞林館に入りたるが埠頭には鏡城、羅南、清津の主なる官民及び愛國婦人會員、併佃地方有志並に小學校職員生徒一同整列して總督を迎へ埠頭より旅館に至る沿道亦出迎の群集を以て充されたり尚ほ雞林館に入りたる總督は直ちに出迎への各高等官接見式を行ひたり

▲清津發 清津に一泊せる長谷川總督一行は九日午前六時四十分雞林館を出で臺車にて停車場に向ひ同五十分發特別列車にて會寧に向け出發せるが鏡城より來清の各高等官羅南軍隊代表者清津各官衙の長民間代表者等は停車場構內に堵列見送りを爲せり因に鏡城桑原道長官浦野警務部長は一行に隨行して北行せり(清津)

▲會寧着 總督一行は九日午前十時十五分會寧驛著臨時列車にて到著せり之より先き會寧驛には八谷大尉の指揮する騎兵一個小隊大城中尉の指揮する堵列兵二個隊在鄕軍人、官公吏、學校生徒其他整列して出迎へたり長谷川總督は停車と共に下車し平田分隊長の先導にて出迎者に對し擧手會釋したる後豫て準備せる腕車に乘じ本町通を旅館會寧館に入れり

▲視察接見 總督は晝食の後午後一時隨員と共に會寧館を出で郡廳に到り同所にて各官衙の長及び地方實業家に對し接見式あり後郡廳を出で公立小學校、普通學校、慈惠醫院、守備隊、工兵隊等を順次視察し午後四時會寧館に歸りたるが別に古海參務總長は衛戍病院を視察せり當日實業家にして接見されたるは左の五名なり(會寧)

澁谷像三郞、鹿谷治太郞、金國均、崔成龍、金鎮泳

◎麥作益々良好

全道內本年の麥作は春秋時共に成育して不良の感なきにあらざりしが最近に於ける順調の氣温と適當の降雨により著しく良好を加へ一般麥作の穂孕並に出穂の時季に於て頗る好影響を與へたれば此上天候氣温に不順なき限り期待以上の豐作を見るべしと

◎司法制改造十周年

故伊藤統監の激勵的演述

司法部長官 國分三亥氏談

十二日朝歸京せし國分司法部長官は朝鮮司法制度改造十週年の所感に付車中に語る

▲回顧十年 恰度本年は朝鮮に於ける新司法制度の創始……と云ふより改造後滿十年になるので來る十八日にその記念會を行ふ事となつた、此の十八日は別にどうと云ふ意味はない、寧ろ八月一日の方が改造法衙の開廳日であつて意義も深長であるけれど炎暑の際だからと云ふので時候のよい十八日に選んだ譯だ、文物諸制度の確立した今日から十年前の混沌たりし司法制度改造當時を回顧すると追憶の數も盡きぬのであるが、當時の經過の槪略を語らう……と前提しつゝ曰く

▲司法制度改造 明治四十年の秋に締結された日韓兩國間の第二次協約により、韓國はその司法權を行政權より分離する事となつた、それには司法制度の改造が急務である、司法制を改造するには日本の司法官を主腦部に備聘しなければならぬと云ふ事にきまり間もなく前司法部長官の倉富勇三郞氏が法部次官として渡韓し始らく滯京の上同年の暮れ備聘司法官銓衡の任を受けて東京に來られた而して先づ現高等法院長の渡邊暢氏が大審院長に予が同檢事總長に就任する事となり翌四十一年の一月に任命を受けその後三月頃までかゝつて予等は

▲韓國備聘 司法官多數の人選を行なひ吾々は三月の末に渡韓又予等の人選に基づく多數の司法官は四月より五月六月に亘り順次渡來し而して地方裁判所長や檢事正の任命が僅か五月十一日にあつたやうに思ふ六月の何日であつたか所長檢事正以上の監督官會議を京城で開會した、その席上で故伊藤統監は下の如き意味の激勵的演說をされた『韓國に於ける諸般の政務は何れを見ても改善の餘地なきはない、然し乍ら司法制度が今日の如く泥沌としてゐては

▲百般の改制 何等の効果もないのである、韓國政務の改善は司法制度確立を以て焦眉の急務とする、吾輩は諸君と共に司法制の改造に全力を盡したいと思ふ、世上或者は吾輩の意見に對し尚早若くは過大なるやの批難を加ふる者もあるが夫等の說は省みるに足らぬ、宜しく奮勵努力司法制度の改造に邁往して欲しい』と要領は斯樣で吾々に多大の感動を與へられたが偖て愈々

▲八月一日 より開廳と云ふ事になると、實に今日より考ゆれば嘘と思はれる程諸事は整つてゐない、一例を擧ぐると地方の裁判所の廳舍がない、のみならず職員を入れる場所もないと云ふ有樣である、然し各司法官は非常の勢ひで各地の任に赴き廳舍がなければ

▲木の下で雨露を避けても開廷しやうと云ふ事となり兎に角曲りなりにも開廳したが、イヤ當時は實に監獄と云ひ警察と云ひ裁判所と云ひ憐れな狀態であつたのである。唯其の後時勢の進展と上司の指導と各職員の奮勵は今日の如く司法制度の確立を見たのであるが、其の間にも明治四十二年の秋に

▲司法權の委任 があつて法務院(日本人を裁判せし)と韓國從來の系統を異にしてゐた統監府の司法廳の統一が出來、翌四十三年の夏に警察權の委任あり、同十月一日に日韓併合と進み爾來逐次司法制改善の實は擧つたのであるが何時に改革も前後四回あり職員の減免多くともすれば縮少に傾むいた觀もあつたが、近年文化の進歩に伴ない司法事務も漸次多忙を來すに至り又復增員擴張時代に入り制度は全くゆるぎなく確立を見るに至つた譯である

◎内地財界の緊縮傾向

戰爭も下り阪、講和來遠からざらん

鮮銀總裁 美濃部俊吉氏談

美濃部鮮銀總裁の車中談に曰く鮮銀の副總裁も今回新設さるゝ事となり政府が目下人選中である、或は既に銓衡を終つたかとも聞くがその發表は多分未だ可なり先きであらうと推察さるゝ

▼戰爭下り阪 世界大戰爭も諸種の形勢より觀て慥に下り坂に向つてゐる、今回の獨逸の講和提議の如き傳へられたやうな條件では又今回は到底和議の成立を見得られないであらうが、慥に戰爭終局に對する一導火と稱してよからう、平和の曙光は見ゐて來たやうの氣がするモーリス將軍によつて起された英國內閣今回の危機も危く立直るにせよ恐らく講和風の誘致した一葛藤を目して大なる見當違ひであるまい、唯軍が種族保存の方法を一方に講じつゝ、相對時して下らないと云へば別だが恐らく今後猶ほ幾年も戰爭狀態が續くであらうとは信ぜられぬ

▼内地財界緊縮 左樣な講和來の思惑と英米佛その他の貿易制限や輸入品の暴騰による出超の減失やらで、内地の金融界も大勢緊縮傾向である、今後益々引き締つて行くであらうと申して預金の如き隨分公定を無視し高い利を拂ひ集めたりしてゐるから、銀行の手許は必ずしも資金の缺乏を感じてゐる譯でもないが、どうも前途が危いので握つた資金の幾らか長い放資は控へ勝ちである、然し此の傾向は惡くないと思ふ、何故ならば內地の財界が野放圖もなく膨張して行つて俄然講和と云ふやうな大衝動を受けると膨れ切つたゴム風船が破れるやうに反動が來ないものでもない、時局の急轉がいかに吾が財界に影響するかは非常に注意を要する事である、尚ほ金融業者が警戒してゐても銀行貸出しの如き矢張り漸增の步趨を辿つてゐる

▼支那投資 最近鮮銀は奉天省の借款三百萬圓を引受け電信借款二千萬圓を興銀臺銀と共に引受けた、此兩三年の間に鮮銀の支那借款に關係せる數は約十近くに達しまだ〳〵交涉中のものも可なりある、支那は資金の受容力に於て無限なるかの觀なきに非ずだが、銀行では能ふ限り對支投資は續けて行く考へである其他資金を要する事は莫大なもので幾何あつても足らない、新株の第四回拂込み二百五十萬圓を近く徵し資本金二千萬圓は拂込み濟みとなるが何れ銀行の基礎を一層大にする方法に出づる必要があらうと思ふ

▼東拓の增資 東洋拓殖會社の增資も島渡問題らしかつたが愈々決行される事に決定したやうだ、東拓增資の目的は資金を要するためと云ふより寧ろ財界の膨脹せる今日社の資本を大きくして置かうと云ふのであらう、何故ならば資金は募債餘力が猶ほ約七千萬圓足らずあるのであつて必らずしも增資によらなくてもその調達は容易く出來るからである、唯公募株のプレミヤムの如きは何の位に達するか、何しろ目下日米信託や東亞興業の如き大口の募株があり財界も前述の如き傾向であるから非常な好況を見る事は或は六ケしいかとも思ふ

◎九州見物(九)

櫨の九州

磐溪生

二日市驛を出で長崎本線の分岐點なる鳥栖附近に至れば筑後川流域の大平野展開す、福岡縣下に於て山野田疇の間に散見したる櫨樹は漸く平野に密生し、旅行者をして多きに一驚を喫せしむ、

◎九州の地櫨樹の繁殖 櫨樹は昔熊本の領守銀台公の時、財政紊亂其極に達したりしため、堀平太左衛門なる者、之が救濟策として櫨樹の植栽を奬勵し、其實は藩に於て買上げ、藩直營の製蠟所に於て蠟燭を製し以て財政窮乏の短を補ひたるが、之がため從來棄てゝ顧みられざりし荒蕪地、河畔、堤防等は利用され、民は

◎確實なる副業を得、藩の財政も亦餘裕を生ずるに至りたりと、當時諸侯滔々として驕奢淫逸に流れ、財用に窮する事急なれば平民に誅求し、民應ぜざれば誅虐を以てす、怨嗟の聲國內に滿ち、民心漸く上を離れんとするの時、民の利害は國家の利害なりとなす、政治主義に基きて、殖產興業の途を拓きたる、彼れ堀平太左衛門は、實に賢明なる政治家なりき、良輔弼者なりき、銀台公をして時の三明君たらしめしも又彼れに負ふ處尠からざりしならん。爾來九州の地、櫨の

◎植栽大に行はれて其生產多額に上り、今に至るも初見の旅行者をして『櫨の九州』の感を抱かしむ、近來養蠶其他有利なる產業普及したるため、櫨栽培地は畑となり、田となり、產額激減したるも、尚年產額は福岡七十五萬圓熊本二十七萬圓大分二十五萬圓長崎二十萬圓佐賀十七萬圓に達し實に全國の產額の九割九步を占めつゝ有り、車窓に倚りて、菜圃麥田の間に櫨樹を眺め、良政治家の事業を掘り出したる記者は、晩秋の候

◎紅染めし櫨樹の眺望をなす事を得ば、菜も實も一時に併せ得たらんにと、多少の遺憾を感ぜざるを得ざりき。

◎春川

▲庶務主任會議 江原道廳にては來る六月二十日より二日間管內各郡庶務主任會議を開催すべし▲國有林公賣 江原道廳にては五月八日午前十時より春川郡龍華山國有林產物及び同郡川里所在伐木の二件を競爭入札に附し公賣せるが龍華山分は麟蹄郡の中村組に一萬四千七百六十餘圓にて同芳川里分は麟蹄郡の朴來遠に白五十餘圓にて落札したり因に中村組は先般龍華山の借付許可を受けたるものなりと

◎京畿煙草消費稅

京畿道管內に於ける大正六年度煙草消費稅高は合計紙卷煙草及葉卷煙草小賣價格六百零二萬六千三百五十八圓二十一錢五厘此の稅額六十萬零二千六百三十五圓七錢にして之を前年度に對比する時は小賣價格に於て百二十萬八千五百十圓稅額に十二萬零八百五十七圓五錢を增加せり右は全く小賣價格の引上を爲したると一般生活程度の昂上に伴ひ紙卷煙草の需要を激增し製造高の增大を來したる等に基因せるものなりと

◎市外通話增加

大正六年中に於ける朝鮮市外通話の總數は二百二十三萬八千通話にして前年の百七十五萬二千通話に比し二割七分七厘の增加を來せるがその料金は三十五萬五千圓を擧げ前年の二十七萬三千圓に比し三割三分の增加なり

◎京畿畜犬規則

從來京畿道管內には畜犬取締規則なかりしが道廳全體に亘り之れを施行すべく目下警務部に於て審議中なるを以て近く警務部令として發布を見るべしと

◎京畿大小麥優良品

京畿道管內に於ける大正六年度大小麥優良品種の普及狀況及び其の栽培成績を聞くに大麥に在りては『マンミー』作付反別二百七十五町四反の收穫高二千二百十一石、大麥優良品種合計に於て作付反別二百七十五町收穫高二千二百十一石なり又小麥は『カリフオルニア』作付反別二百四十六町一反收穫高一千七百八十八石『マーチンスアムバー』作付反別五町四反にして此の收穫高三十八石合計小麥優良品種作付反別二百五十一町五反此の收穫高一千八百二十六石なりと

◎琿春領事分館

本年度に於て新築さるべき琿春領事分館は敷地二千八百坪にして之に三百五十坪の洋館を建設すべく工費は約五萬圓なりと同分館建築に就て今回西條外務省囑託技師が琿春に至り設計準備する所ありしが工事は本年七月頃着手し成るべく年內に竣工せしむべき豫定なり

◎晉州地方蠶況

慶尙南道晉州地方にては今月二三日頃より五六日頃に亘り春蠶の掃立を爲したるもの大部分にして目下早きは一眠中のものもあり發育極めて良好なりと

◎清津の局長會議

遞信局にては來る十五日より三日間清津に咸北各郵便局長を召集局長會議を開會する事となりしが出張中の持地長官橋本副事務官臨席すべし

◎客車聯結

滿鐵京城管理局にては釋王寺に於ける釋尊降誕祭參詣旅客の便宜を圖るため十七日元山高山間の不定期貨物列車に三等客車を連結する由

◎議員團滿洲日程

衆議院議員鮮滿視察團一行十三名は十二日朝南大門驛發列車にて元山に向ひたるが同地一泊の上十三日午後京城へ同夜九時四十分南大門驛發列車にて北行奉天に直行滿洲各地を視察の後二十二日午後九時廿五分奉天發列車にて北京に向ふ豫定なるが滿洲に於ける行程如左

五月十三日午後九時四十分南大門發▲十四日午後六時卅五分奉天著一泊▲十五日午後九時五十五分奉天發▲十六日午前三時五十分四平街著午前六時二十分同驛發前十時十分鄭家屯著後二時四十分鄭家屯發同四時四十分四平街著後六時十四分四平街發後九時三十五分長春著一泊▲十七日後〇時廿分長春發後六時廿五分哈爾賓著一泊十八日哈爾賓滯在▲十九日後九時哈爾賓發▲二十日午前六時長春著同八時四十二分長春發後十二時十五分吉林著▲二十一日前六時四十五分吉林發前十一時十分長春著正午長春發後十一時撫順著一泊▲二十二日後七時撫順發同八時二十八分蘇家屯著同八時五十一分蘇家屯發後九時廿時分奉天著同九時二十五分奉天發北京に向ふ

◎國分長官歸京

司法官會議列席のため東上中なりし司法部長官國分三亥氏は十二日午前九時廿五分南大門驛著列車にて歸任す

◎美濃部總裁歸京

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は令息並に秘書役付稲子同伴十二日朝南大門驛歸京せり

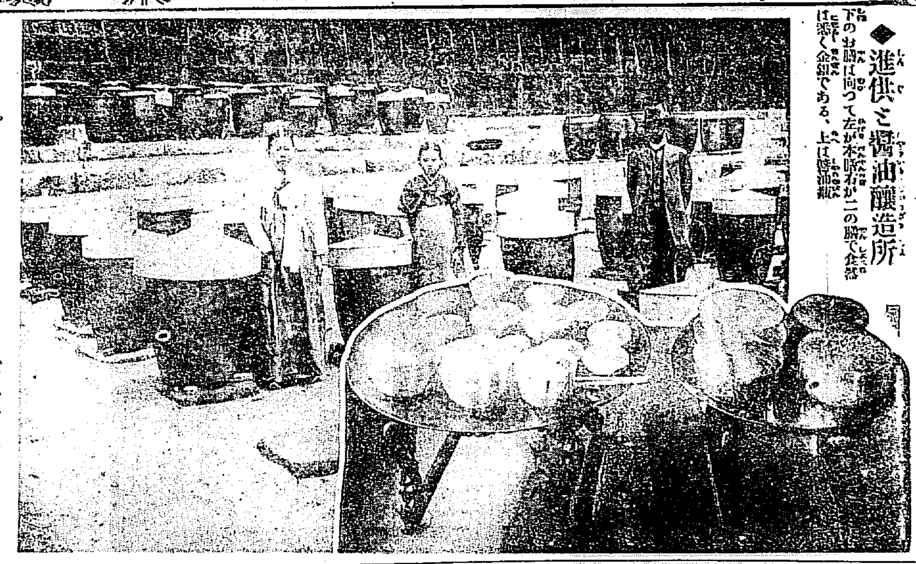
人事消息

▲菅田榮久氏(日鐵北命支配人) 十二日朝京天官樓へ
▲島川利吉氏(久原甲山出張所長) 十二日入京天官樓投宿の筈
▲代議士團一行十三名 十二日午前元山へ
▲鹽澤大佐(京畿道警務部長) 十二日午前開城へ
▲朝鮮商業銀行團一行 二十八名十二日午開城へ
▲張憲植氏(忠北道長官) 十一日午後退京
▲山田工學博士(帝大教授) 十一日退京

酒前茶後

◆牝鷄晨を報じて右顧左眄決せず羅王獨に屈せんとして皇后遂には滅亡の哀を止めしは希臘
◆芬蘭の帝政は獨逸豫定の行動、慨す巴樹幹の皇后は何れも女傑
◆露過激派の帝王現はるも何の不思議、獨人の帝王現はるも何の不思議
◆露過激派憤慨更に獨と戰はんす天に吐し唾の其顏に掛ると知らず
◆浦鹽過激派は恐痴な女叱れば叱る程限なく附上る厄介連
◆獨逸に放蕩息子の如く懲りる(?)には手段も擇ばず一家倒產も不
◆初手は氣休め二度は嘘の手
◆京都疑獄は市長以下の珠數繫
◆元來市議員覓與は一人前二百
◆議員總數四十五人市長希望者
◆先づ一金九千圓の運動費を要す
◆度重なれば何とやら今度の檢
は天網疎にして漏さずと云ふ
◆木堂君は素人仲間中での刀
◆知らん木堂の背後には影武者
◆由來細工は政家の常何ぞ恥
而も其細工の現れざる處が手腕
◆田尻市長著任匆々な豆粕飯を
過般某所に試食させて一同下痢
◆今度は織物會社にて試食する
◆職工同盟罷工起る田尻子も閉口
◆上杉博士北京に遊び耕堂と遊
席上元老問題に就て大議論勃發
◆耕堂元來奮舌の士氣鋭腕剛
◆此結末を著すんば耕堂肯かざる
◆兩々論駁將に脅力に訴さし漸
◆必ずや近く東方時論誌上に再戰を
◆能率增進は今日焦眉の考究問
◆借問京城にも最良日の研究者在
無益の時間費消を願ざる諸君
宴會時間の提倡等は以て奈

◆進供と醬油釀造所 下のお膳は向つて左が本膳右が二の膳で食器は悉く金銀である、上は醬油甕



昌德宮のお臺所(五)

空白飯は御居間で炊く 最も御好きなのは菁根豆腐の造治 毎週木曜日に午餐會を 佛蘭西仕込のコックが腕を揮つて

白飯―讀んで字の如く白い御飯は俗に云ふこば― 小豆飯のことである、此二つは例の石釜(朝鮮では曲石と云ふ)で炊いて、チャンと御調度に盛つて差し上げるのであるが空白飯は唯磨ぎ上げた儘を差し上げもう十分もしたら御食りになると思ふ頃御膳下の御前で炊くのである、空白飯と云へば六箇敷く聞ゆるが之も矢張り白飯と同じく普通の白い御飯のことである、何故空白飯と云ふか夫は判らぬが昔から空白飯々々と呼び做されて居るので此慣例に基き今でも特に斯う言ふのだ相である、白粥湯、滋湯は共にお汁のことで湯とあるから普通のお湯か中將湯のやうなものだと思ふと大間違ひ

菁根―豆腐造治は手つ取り早く云ふと先茶腐鍋

造治―で頗る美味いものだ相な、炙肉散炙は肉を叩いて燒いたもの、貫肉散炙は肉を串さしにして燒いたもので散炙と云ふのは詰り燒き物と云ふ意味である、叉片肉は肉を紙のやうに細く刻んだもの煎油魚とは天麩羅のことで白煎油魚とは即ち白い天麩羅を射して云つたものである、夫から藻鰕細厨は小さな鰕を細く刻んだもので醋漬熟菜とは野菜の酢物のことを云ふ其他片脯は肉を乾したもの、鹽民魚は明太魚の鹽漬、醬脯肉は肉を乾して醬油に漬けたもの北魚細切は鯖を細く切つたもの片肉造里介は先づ

西洋料理―のコロツケーに似たものである沈菜 雜村沈菜は共にお漬物のことで殊に雜村沈菜は頗る淡白したものだ相な、一々献立を說明して居ては際限はないが何しろ品數が多いから調理の女官も嘸ぞ骨が折れることだらうと思はれる、王殿下は御齒を療治せられて以來什麽ものでも召し食られるやうになつたが一番御口に合ふものは菁根と豆腐の造治で之は殊の外御賞味になる、其他はホンの少量宛召し食り中には全然御箸をお著けにならぬ品もある相だ、偶に魚類を買つて食ふ處がなくなると眼玉を突つき夫でも満足せずして皆迄食り食ふのさは譯が違ふ―王殿下は毎週一回木曜日には乾度閔長官、國分次官を始め二三の貴族を

御招―上が餐會を催されるが此時丈は

待の―大抵西洋料理を召し食がる、會場は其折々の御都合次第で植物本館になることもあり宙合樓を選ばれることもあり又宣政殿に定められることもあつて決して一定して居ない、九日は恰度其木曜日だつたので宣政殿に於て午餐會を御催しになり例に依つて洋食を召し食つた洋食は總て吉川と云ふ佛蘭西仕込みのコツクが腕を揮ふのであるが此人の調理したものは決して胃腸を壞す處がないので殿下も安心して召し食る相である。

慶南泗川に戰勝記念碑

慶南泗川郡泗川新砦に島津公爵家より戰勝碑建設十二日同除幕式あり東郷中將古河少將外多數の參列あり尚新砦には櫻數千本を植込みあり(馬山特電)

▼參列者五百名 東郷司令官臨場す

島津公戰勝記念除幕式擧行されたり東郷司令官、佐々木道長官臨席雨天にも拘らず參列者五百名以上に達し雜沓を極む(晋州特電)

豫審決定近し 十四五日發表

福岡鐵務署關係豫審決定し十四五日頃發表の筈なり(福岡電報)

測候所に無線電信機

各地測候所長會議より歸りて ◇社會の好景氣は總べての◇事業を完全にと要求する 仁川觀測所長 平田德太郎氏談

京城中央氣象臺に於て開催されたる各地測候所長會議に列席の爲め客月末上京中なりし平田仁川觀測所長は十日歸任內地出張の所感を述べて曰く

世間の好況に伴れて一般の欲求が進む如く學界に於ても亦沈滯から脫して進取的になつて來たこれは誠に喜ぶべき現象と云はねばならぬ之を單に我々の携はる事業の方面から云つても從來は氣象上の設備に於ても結局は

經費の問題 で何事も出來なかつたのが今では金は幾らでも出すから之も彼れもと其の實行を強いる樣になつて來たが茲に一つの根本問題があるそれは日本の總ての事業は皆悉く外國の力に俟たねばならぬ事情がある假令ば一個の時計であるが日本製と云つても其の肝腎要の大事な部分は之を外國に求めねばならぬといふわけで問題はそこにあるので如何にして日本は眞に

自からの力 に依つて立ち得るかこれが目覺めた社會が要求し學者は此の要求に應じなければならないので此方面には政府も揩ます金を投じ民間有識者も之に向つて相當の援助を與ふると云ふ事になつて來たので今度の會議でも此の傾向が實現された事がある それは

地震の觀測 や其他に最も正確なる時間の統一を計る爲めに中央氣象臺と各地測候所に無線電信機を具へ附け以て氣象臺の觀測に依る標準正午を各地に傳へて全國の時計を分秒の相違なく合はせ樣と云ふのである之は內地では早晩實行さるゝ事だらうが朝鮮では觀測所に於ても氣象臺と同樣の觀測を行つて居るから此の設備の必要は無いが只目下最も必要とするのは支那大陸及び滿洲西伯利邊

奧地の氣象 を取る完全なる通信機關の設置が無ければならぬ事で之は從來提案された事ではあるが今では之に要する費用は出しても西伯利の現況が現在の如くでは到底此の目的を達する事も出來ぬと云ふ始末で遺憾な次第である、が要するに社會は時代の刺激を受けて變轉した金が無くて出來ないとせられた仕事も金は幾らでも出すから完全にと要求する樣になつた今や此向上の一機運に乘じ

根本の問題 に觸れて研究を進めて居るから將來五年の後十年の後には日本は自からの力にて事業の進歩が得らるゝだらう

官金盜難 六千八百圓 兼二浦郵便所

十二日午前二時より五時迄の間に兼二浦郵便所にては官金六千八百圓及び所長所持金五百圓の盜難に罹れり(兼二浦電話)

大鐵專務責附

製鐵所事件にて福岡に收監中の大阪鐵工所專務木村亮之助は責付許可され福岡に滯在取調に應ずべしと(大阪特電)

大官を狙つて殺人豫備罪

熊本縣天草郡宮地岳村松下七郎(三)及び岐阜縣大野郡高山町夏厩助藏(三八)の兩人は某より依賴を受け昨冬奉天にて某大官を狙ひ逮捕され長崎に護送の上豫審取調中の處十一日殺人豫備罪、爆發物取締違反として豫審決定公判に移されし由(長崎特電)

婦人と小供

小さき日米親善 持地長官夫人の發起

▣南山町の愛國婦人會のポプラの並木を洩れて毎週土曜日の午後三時頃から床しいピアノの音につれて嬉しさうな子供の笑ひ聲や婦人達の樂しさうな聲が聞へて來ます ◇去土曜の午後大和町官舍に持地遞信局長官夫人をお訪ね致しますと、女中さんのお取次ぎであの廣い應接間に通されました待つ程もなく夫人は……一年ばかり前から私の考へで子供達の進取向上の爲めに毎週土曜の午後三時から西洋の子供と日本の子供と一所に集めまして小さい口から出て來るれたる合唱なども日本の子供は英語で西洋の子供は日本語で話させたり西洋の遊戲やお唱歌を歌はせたりして少しでも子供達の自上をはかつて居ります元來內地に居る子供とこちらに來て居る子供とはその小さき頭にも多少の違つた點があつて西洋人とし云へば一歩自分より高く見て居るかたむきがあります又西洋人の方では日本の子供等よりも

▣朝鮮人支那人に親しむべくつとめて居りますので私共のこの集りはそう云ふ風な日本の子供の感念をのぞいて同じ樣なるお友達として行きたいと存じて居りますの、幸にして御贊成下さる人達もふえて大分効果も顯れて來るやうで御座いますの一方からして子供の集りを開きますのでそのお母さん達も共に出て來て得る處が大變多う御座います

▣丁度只今それへ出かけて居りますのでお暇でしたらご覽下さいませ、とのお言葉に記者もこの小さき握手を……婦人會會館へ向けました可愛い企堂の先生がピアノを彈いて子供達は一椅子取りごつこ……の其他種々な西洋の遊戲をして居る處は非常に可愛らしう御座いました、遊戲が濟むと卓の中には下まで足の届かない人も大分ありました

▣可愛い純白の服をきた先生がスミレの花を一本手に取上げてジス、イズ、エー、バイオレツト、を教へて居ます、西洋の子供へは日本語で、これはスミレです、と教へられて何方共ほほつかない發音ながら、そして笑ひ興じながら墜わて仕舞ひますと、アルフアベットのお唱歌が初まりますピリングスさんや

▣今年四ツのポーロさんのお伶悧なのにはげまされて一生懸命に覺えます、その內にお茶が出るお菓子が出るみんながニコ〳〵するお母さん達はレイス糸の作り方も習ふ事になつたやうで御座いました

▣斯うして進取向上をはかり着々たる間に英語や日本語も覺えて行くいい集りだと感心しながらお別れして歸りました

狂犬騷ぐ 電柱をまで嚙む

十一日午前八時頃京城黃金町一丁目路上を一頭の狂犬らしきが狂走し居合はせたる同町百九十二番地の申徹其(二〇)に咬みつき尚電柱に咬みつき居るを警官が引つ捕へし取調べの結果此の犬は太平通二丁目五十番地支那料理屋瑞芳方の飼犬と判明し獸醫出張診斷せしに狂犬と確定したるを以て撲殺せり

八犯で五年

廣島縣八丁堀町生れ前科七犯の筒井熊吉(四二)は龍山漢江通十三番地桑原某方外二箇所にて泥棒を働きて京城地方法院にて懲役五年に處刑されたり

大掃除と石油乳劑

京城では各町に亘つて警務署の指定した日時に依つて大掃除法を實施し銀路通り一帶に着手してゐるが內地人家屋の多數は十五日から初めることになつてゐる、夏の南京虫を初め蠅、蚤、蚊などは大掃除の際に消毒不充分から發生することが多い、又便所や流し元等の汚水を溜するが非常に美味いもので生で好し燒いて……フライにでもすれば更に妙である……

每週ポンチ ―相撲狂―

(一)相撲 狂の某課長五月場所が始まつたので勝利が懸念されるや否や飛起きて贔負力士の勝利を祈りつゝ日を過すと初日早々の黒星間違ひではないかと疑ひ度くも注意して見たが矢張り同じ負星しかも一本背負でやられてゐるのですつかり氣を腐らしてしまつた

(二)役所 に出ても念頭を去らず親の仇を討ちそこなつた樣に無念〳〵と連發するので部下の連中困つた病氣になつてきたさ噂とりく

(三)親に 似た相撲好きの西坊お父さんが歸つたので父さん相手に日課の相撲を取り初めた役所での苦い顔も小供のために大分和らいでゐたが贔負力士の事を思出さずにはいかにも殘念で仕樣がない

(四)右四 ツに組んで一寸腰を利用すれば好時も腕取の勝にきまつてゐるが今度は初日早々どうしたのだらうこんな風にしてポンとやつたら訳はないがと西坊をつかまへてヤツと氣附いた時には西坊の頭は障子の骨をムチヤクチヤにしてゐた

助太郎畫

謹告文藝(一等には五十錢)
△「有難迷惑なものは」
御親切(一等先番) 京城 永道生
△萬歲に出番 京城 松永
△下に正宗 京城 狂哲
△押ひの惡い客からの注文 京城 茶目吉
△下手な說明 仁川 久流美
△大きな握手 京城 默居坊

飯塚齒科醫院 東上中五月八日院主歸城

灯とも頃

御旅行用 堅牢無比にして耐久使用の御便に 鞄 好評嘖々 用者曲御 定價二圓 東京市芝區櫻田伏見町 內田製鞄問屋

英國製二連 壹千挺新荷着 (定價表郵呈) 橫濱市本町 合資會社 金丸銃砲店 (店主西村潤護)

諸眼鏡 貴金屬 裝身具 卸問屋 (定價表御申越次第進呈) 大阪市南區東清水町五六 谷本鄰三商店 振替大阪三九五一九番

△廣告▽

宇治茶直接販賣 お待兼ねの新茶走り 煎茶製 一斤 玉露製 一斤 御銘茶定價表(二百目ニ付) ◉玉露製 寶の梅 老の翠 桂の香 南の露 旭の松 菊の雪 龜齡 相生 ◉煎茶製 特製 桃山 井の園 宇治の里 松の寶 喜撰 折鶴 白菊 白友 白髮 ▼御注文は一斤以上 ▼送料は……製茶問屋 井上六平

新形荷揃 特價一圓四十錢 塚谷洋品店 東京神田南神保町 京城出張店 京城本町

建築金物土工用具一切 八角鋼並ニ黑鉛用金網 地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計リ可申候 直輸入商 京城本町一丁目 佐野彥藏商店 電話百六十三番 振替京城一二〇番

宮內省御用達 三ツ矢サイダー 平野水 ミローナ 帝國鑛泉株式會社

專賣特許 シーエス液 山林果樹園藝用害蟲驅除劑 松毛蟲に特効あり 說明書御申込次第送附 京城旭町一丁目 製造發賣元 山田商店

商標登錄 ゼフアーシヤツ 流行シヤツ 大阪 東京 潮谷商會

一枚買で每月鐵の樂める月賦發升 六十七圓賣價拾圓賣價拾圓 東京債券株式會社

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は眞名の外に住所氏名明記の事 ▲一等……
課題及び募集規定

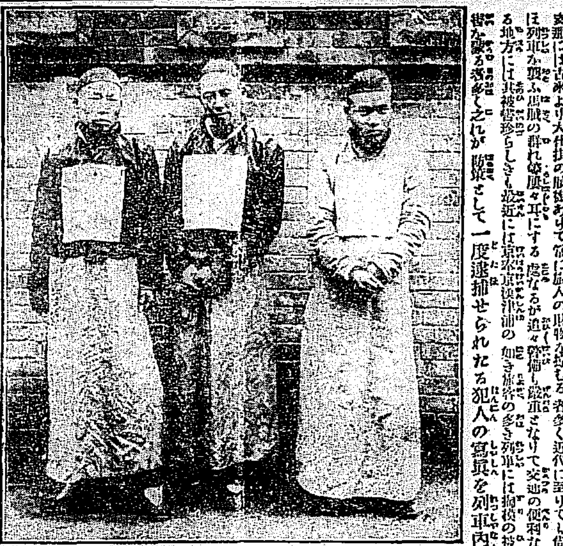
運動會延期 仁川年中年……なる聯合運動會は十二日午後……

連絡船上陸客 十一日午後釜山入港高麗丸 三等(百〇二(名)……

九日午後四時十分釜山入港商麗丸 上陸二二等客……

氣象 大
曇り後晴れ (十二日午後六時より十三日午後六時迄)
▲五月十二日
日出 五時二十七分 日沒 七時二十三分
滿潮 仁川 午前六時五十分 午後七時九分 釜山 午前十一時五十一分 午後十一時五十二分

……雨未だ晴れず……無かりしため十三日に延期し同日も雨なれば十四日開催すべし



支那にも箱稼＝面白き掏摸の豫防策

支那には古來より大仕掛の賊徒ありて常に旅人の財物を掠むる者多く近代に至りても尙ほ列車を襲ふ馬賊の群れ等屢々耳にする處なるが追々鐵道も敷設されて交通の便利なる地方には其被害も少なきも近頃には京奉京漢津浦の如き旅客の多き列車には掏摸の被害殊に多きより之れが豫防として一度逮捕せられたる犯人の寫眞を列車內に掲げ其上犯人を停車場のプラットホームに立たせて白布に寫眞の如く『注意（上部へ大書）我是窃盜犯李新泰（何れも其姓名）在車窃財物被巡警查獲大家注意認認我』の文字を書きて首に垂下げ手錠を掛けて旅客の注意を惹かしめつゝあるは頗る面白き豫防策と云ふべし（寫眞は最近の掏摸犯人なり）

鮮滿急行列車の廢止に就て
滿鐵當事者談

滿鐵會社に於ては西伯利亞鐵道運轉の現狀に鑑み從來滿洲線と連絡したる歐亞鐵道交通は事實に於て杜絕し連絡不可能となりたるを以て滿鐵線のみにて急行列車を運行するの必要を認めざるに至れるを以て十一日より急行列車の運輸を廢止する事となりたり滿鐵役員の說に曰く、急行列車の運轉休止は滿洲朝鮮全線に亙り露國の秩序恢復し西伯利亞鐵道が確實に定期の運轉を爲すに至る迄は多分休止さるゝ事となるべし從來西伯利亞鐵道との連絡は幾多の困難と不利益を忍び世界交通路の爲め多少の損害を顧みざりし處なるが露國革命後殊に過激派の勢力旺盛となれる以來完全に連絡を遂げたる事殆んどなく近來に至りては一層甚だしく且つ露國人以外の旅行者稀にして一二等連絡急行車を運轉せしむると雖も乘客數意外に僅少にして徒に運轉に夥からざる缺損を生じて一面に於ては前述の如く西伯利亞線との連絡不能の爲め歐亞連絡の意義を爲さゞるを以て茲に全く急行列車の運轉不要となれるを以て一時休止する事となれるが會社に於ては此の輸送力を貨物輸送に注ぎ滿洲線沿線滯貨の一掃に宛つる計畫中なり滿洲線の滯貨は其後貨車繰の良好なると社員の異常なる勉勵とに由りて漸次減少し來り一方大連に於ける特產物相場思ひ通りの高値を生まざる爲め一時盛んなりし積出需求も漸次順調となり來れるも猶北滿各地には東滿線に由りて浦鹽に運送すべき大豆其他の滯貨約三十萬噸に及び之等は早晚大連及び朝鮮線を經由南下するに至るべきを以て夏季に入ると雖も猶輸送繁忙なる見込みなり又朝鮮線內の穀物を主とする出貨は最近に至るも衰へず內地仕向け貨物の停滯三萬噸以上を越ね之れに朝鮮線內發著貨物の滯貨三萬噸を合して合計六萬噸の滯貨を見るに至り之れが一掃と將來に於ける貨物輸送力の增加を爲さゞる可からざる運の調節を圖るには更に大なる輸送力を以て會社にては差し向き必要を感ぜざる歐亞連絡急行列車を廢休し其の輸送力を貨物輸送に用ひ此の間に於て多數の貨車及び機關車を建造し輸送力を增加する筈なり將來西伯利亞線運輸狀態の恢復と共に歐亞連絡復舊せしむべきは勿論なり今回急行列車の運輸は少數の旅客に取りては不便を感ずる向ありと雖も極めて一部分にして西伯利亞線に連絡不確實なる今日に在りては滿鮮兩地間の旅客のみなるを以て大なる不便を感ぜざるべし（大連）

北支那地方は日本人の天地である
◇福岡商業學校見學團語る◇

福岡商業學校生徒一行十八名の視察團は九日の夜撫順から奉天に著いた、一行の附添には校長太田德次郎氏及び教諭藤野菊雄氏並びに卒業生奧村利一郎氏の三名あり何れも元氣で愉快さうであつた、太田校長は語る『私の學校では每年上海から長江流域の南支那を旅行することになつてゐるが今年は是非北の滿洲を視たいといふので上海行きの別動隊として同時に福岡を出發しました、門司を出たのが去る四日、六日大連に上陸して港內及び油房等を視ました、大連には卒業生の先輩も多數あり且つ相生氏も萬事世話して呉れましたので一同非常に滿足しました、奉天では鮮銀の小西支店長が福岡の出身だといふので明日色々經濟上の御話をして下さる筈です、撫順でも先輩が居りましたが同地の炭坑や硝子製造などには驚きました、總じて上海方面では外人の活動振りに感じますが、こちらに來ますと日本人の活躍振りが愉快に思はれます、それに奉天もなか〳〵の景氣だ さうですが鞍山店、本溪湖などの土產が得られませう、奉天では新市街から城內、北陵等を見て十一日の朝出發十二日は平壤に一泊して十三日の夜京城を見ようと思ひます（奉天）

石坂傳道局長一行は滿洲各地出張の途次來る十六日平壤に著し同夜は午後八時より鐵道俱樂部に於て驛員及び一般の爲め講演會を催すべしと（平壤）

棉代用の海藻
◆慶北の沿岸にて發見◆

棉花代用のスガ藻は近時日本內地に於ても諸所に其の叢生せるを發見されつゝあるが慶尙北道沿岸にも亦其の叢生せるを認め目下慶北道當局に於て之が調査中なるが該海草は主として和布藻及其の附近に比較的多く慶州郡陽北面、迎日郡迎日灣、盈德郡烏保面以北の沿海に最も多く著生せり而して其の葉伸は七八寸より七八尺に及び價格一貫目約五錢なりと（大邱）

各地附信
大田（農銀調査）

◇大豆　は一時十八圓以上に騰貴せしも其後漸次下落し本月に入り十五圓臺に暴落したれば殆んど出貨なく取引高極めて少なし◇米穀　四月を通じて殆んど保合の姿にて二十一圓七八十錢より三十一圓二十錢の間を往復し且小農の如きは全部買ひ喰ひの時期なるを以て◇滿洲粟　の輸入を惹き起したれば之が買入れの爲め多少資金の需要を喚起したり◇土地熱　は引續き盛にして地價の騰貴益々甚しく賣買可なり多し然れども今や米穀類の殘存する時期なるを以て◇金融　は一般に緩慢なるを免れず物價の高低は凡て內地相場の影響を受けつゝあり一般◇商況　として活動時期にあらざるもさりとて閑散と云ふ程にもあらず鐵道改修◇工事　を初めとし停車場の改築大田川の修築等其他の工事勃興の爲工賃の撒布せらるゝもの多し◇補助貨　は銅貨の拂底益々甚しく支拂ひ上多大の支障を感じつゝあり滿洲農銀支店帳尻左の如し

金銀入金　同上入金　貸付總額　貸出現在

十四歲の嫁が夫を殺さんとす
◆實家へ歸りたい許に◆

平南龍岡郡土城面元邑里九百二番地農崔京淑（三）內緣の妻趙寶貫といふは滿十三年十一箇月の少女なるが朝鮮の慣習として崔方に嫁したるも實家へ歸りたさ一杯に夫さへなくば歸れるものと淺果敢なき考へより夫の京淑が熟睡中を窺ひ豫て用意し置きたる洗濯用苛性曹達半匙程を夫の耳の中に注入して殺害せんとしたるも果さゞりしとは悲慘なる話なり（平壤）

滿洲名物
覗眼鏡＝カラクリ◇

奉天の小西門から南へ大西門に通ずる城壁の下に盜棒市と稱する處がある、此所にはボロ著物の片から空瓶、金釘の一本に至るまで持ち寄せられて盜んだ品を賣つたり買つた品を盜まれたり狹い通りを兩側の通りを歩くと此所は喧々囂々の大雜沓である、まだそれ程不潔な飲食店から人相見の藥屋等が立並んでゐる、覗き眼鏡も此の邊にある、眼鏡屋は頻りに『北京の何とか門で看々』といつたやうな事を囃し立て、ガン〳〵ヂャン〳〵と銅鑼を打ちならす、現はれましたるは青島の戰爭とあつてカアキ色服の日本軍人と背い獨兵との大戰爭どちらも敗けて居らぬところは流石に考へたものである、次は北京の寫眞に怪物退治、お終ひには男と女が裁判官の前で打ち首になるところ到底日本人などには見られぬ程の殘酷を極めたものである、見物料は一回一錢、支那人相手の仕事は先づ此の邊の覗き眼鏡式の程度を考へなければなるまい（奉天生）

白山黑水

奉天東拓支店の參事鈴木重治氏は今度哈爾賓から浦鹽線のポグラニーチナヤ驛附近を歩いて來た、ところが恰度松花江の上流あたりに行つた時ある山中で馬賊と官兵との大合戰がはじまり氏も亦危ふい所でまきぞへにされるところであつた▲それにしても此の頃あの方面の沿線では支那兵士から苦力に至るまで支那人といふ支那人が何れも莫迦に威張り出した▲尤も氏が廿年以前から度々同地方に往つた時にはいつも露人の威張り方に閉口したものだが今回はその二代目を支那人がうけ繼いで居るといふ▲もつて露人はグクの音も出ず屈息して居るといふ▲また近來哈爾賓地方の景氣のよいとは豫想外で露人の多くは鑛山とか事業とかを日本人と共同でやりたいと申込む者が頗る多い▲現にある露人の如きは豫て借用した金を今のやすい留で返濟する爲めに一度所有品を日本人に賣つてその金でまた賑い留を買ふ向きもある▲それや之れやで露人との仕事は今が非常に面白いこれからの仕事は何と云つても北滿に限ると（奉天）

急激なる追擊
◆セミヨノフ軍優勢◆

セミヨノフ軍の爲めに占領せられたるボルジヤの會戰當時の過激派軍の兵數は千五百名にして砲十門と機關銃八を有し居りしが此の戰鬪に於る兩軍の死傷左の如し

過激派戰死三百餘
負傷三百餘名に對して七軍は

死傷は極めて尠く
戰死將校二卒十負傷八名にて

以て過激派軍の敗戰振を推知し得べきがセミヨノフ軍は最近哈爾賓地方に於て募集せられたる哥薩克將卒の來援する者約五百名あり又ダウリヤ占領後同地方に於て機會を窺ひ居りし哥薩克の挺身してセ軍に來り投ずる者續々絕えず日に〳〵其の兵數を增加し居れりと、尙ほボルジヤ占領後の急激なる追擊戰に於てバグブラク方面再度の砲戰にてセミヨノフ軍は新式機關銃一野砲二門を鹵獲せりと（哈爾賓）

盛返せし滿洲殖產

在朝鮮實業家の出資に係る大連滿洲殖產會社は從來兎角事業不振勝ちにして昨年末の如き解散の噂さへ傳へらるゝの悲境に陷りたるが近來一般經濟界の殷盛に伴ひ事業も亦多少見るべきものあり過日同社長中村再三氏來滿と共に增資し大々的活躍を爲す方針なり（大連）

ハリス博士

日本メソヂスト教會名譽監督ハリス博士及び

唐草雙紙
奉天にて　督軍生

◆滯貨　一掃されん

滿鐵沿線の滯貨は每年の例とは云ひながら昨今殊に著しく之れが爲め折角の手合せが出來ても商品の輸送がポコペンとなる譯、朝鮮も內地も同樣とは申しながら滿鐵に困つたものである、そこで滿鐵では豫て長春釜山間を聯絡して居た滿鮮急行を廢止し愈よ十二日から實行することとなつた、斯くすれば第一六臺の機關車に餘裕が出ることとなり從つて貨車の牽引力が增加する譯である。

◆旅客　も大助かり

而已ならず右の急行が廢止された結果從來のやうに他の普通列車や貨車の運轉を犧牲にする事が無くなつた、即ち從來は此の急行の爲めに總てのことを擲つて道を明けたものであるが今度は其の必要がなくなつた、それでは急行の廢止で困る者があるかといふと今日のやうに東滿線及び西伯利亞線がゴタ〳〵中では廢止したところで一向何等の支障がないさうである

◆戰蹟　見學團來る

每年の恒例たる陸軍大學生の戰蹟見學團は九日の午後七時二十一分遼陽に著し翌十日汽車にて首山に赴き五味步兵中佐の遼陽會戰に關する現地講話を聽き翌十一日朝奉天を見學した一行の幹部は淨法寺中將（大學校長）以下七氏である

◆奇勝　千山と馬賊

滿洲の金剛山とも云ふべき千山の奇勝は豫ねて煙霞癖の人々に喧傳せられてあるが馬賊があるとかで危險視されてゐるのは遺憾であるが然るに遼陽立山の有志は十三日頃團體で出發親しく千山の新綠を探る筈

◆馬賊　物騷だ〳〵

去六日の夜九時半頃奉天の附屬地病院前から日本領事館に行く裏道の野原で三名の馬賊が現はれ六名の支那人に一名の米人を襲うた

◆問題　のトランク

久しく京城に滯在した例のネンダーは五日夜の安奉線で來奉再び長春を經て西伯利亞へ向つた、問題のトランクを持つたまゝ

◆險吞　なる保證金

從來奉天省內で鑛山の採掘をなさんとする者は一定の保證金を銀行に預入した上財政廳に出願すると同時に返還する筈の保證金を徵ることとなつてゐた處今度試掘許可かその二割を返し殘りは四回に分ちて還附することとなつたので鑛山業者は大恐慌、目下鳩首協議中である

◆砂鐵　本溪湖の製鐵

今度撫順に興つた製鐵所は同地方一帶に產する砂鐵によつて製出する計畫で、資本金百萬圓であるが同社の事業は頗る囑目されてゐる

演藝案內

大正館
櫻井町　電話八七三

◎復讐奇談『呪の聲』　◎新派悲劇『假名手本忠臣藏』

稻荷座
本町五丁目　電話二參二八

有樂館

黃金館
電話二六三七・二六三六

壽座
京城壽町　電話五七八番

壽館
京城本町　電話一〇五〇

懸賞尋ね人
金五十圓　呈上可仕候
平壤賑町美好樓主　中村好藏

多く語るな　要しさせ　判る
心よく新緣の今が大切な時也
いつてんすい　目藥　一點水
痛まず　しみず　瘡まねば老人小兒にも適す
一壜十錢　○東京築地タイガー商會

鰹節　銘茶　淺草海苔　東京澤庵　印麻裏
仁嶋青　商店　川（正）
電話七〇九番　振替京城六〇番

強胃消化錠
アナタの胃病にはマーゲン
八木田博士御處方　島田博士御鑑査
本劑の特色
二博士推選の本劑マーゲンは……
大阪　田畑　保藥房

滋養强壯劑　レグモン
新滋養强壯劑レグモンは京都醫科大學教授森島醫學博士より有効滋養劑として醫界に紹介せられたるものにして、日本赤十字社病院山下醫學士其他多數知名なる臨床醫家によりて從來外國より輸入せられたるソマトーゼサナトゲンに比して決して劣らざる優秀滋養劑たることを認承せられたるものなり。
レグモンの最も有効なる場合は肺結核、慢性胃腸病、慢性腎臟炎、糖尿病、神經衰弱、虛弱なる小兒、インフルエンザ後の衰弱、腸窒扶斯、赤痢後の衰弱、產後の衰弱、其他慢性病にて衰弱せる人、外科手術後衰弱せる人、並に乳汁分泌量の少き人等なり
詳細なる說明書あり、無代郵呈す、全國知名藥店にて販賣す。
定價百瓦入壹圓貳拾錢貳百五入貳圓貳拾錢四百五入四圓五拾錢
發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衞商店

眼科專門
京城若草町（新築路中段）電話一五五六
金井眼科醫院
新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

健康はココにある！
飲むだけ血となり肉となる＝美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワインを朝夕欠かさず召上る事です！！

內科　小兒科　皮膚科
外科一般　婦人病　花柳病
京城黃金町二丁目（長橋通角）
朝鮮病院　診療
（入院隨意）（電話二八三七番）

懷中要藥　清心丹
衛生自衛の爲めに
一、赤痢、コレラ、腸チブス等ノ豫防
一、風土病、水アタリ、時候アタリ
一、宴食集會雜閙の場所にて起る惡体
一、食後常用せば消化を進め胃腸を健にす
一、運動競走又は音聲を使ふ時
一、心神朦朧したる時
一、汽車汽船等の不快
一、過酒過食、食アタリ
一、嘔吐、下痢、胸腹痛
振替口座東京四六八
東京日本橋元大坂町　高木與兵衛

塚原卜傳

第七十三席　悟道軒圓玉口演

一目見るから怖ろしげなる件の男がお八重の傍へ近付いて○『モシく御婦人、驚く事はねえ、何うしたんだ』八『ハイ有難う存じます、之れは妾の召使ひで猥褻がましい事を申しましたゆゑ叱り懲したところ、妾を手籠にしやうといたし既に危いところをお救ひ下さいまして御禮は言葉に盡されませぬ』『ヤレく飛んでもねへ野郎だ、此所に居る爺さんも之れも御家來衆かね』八『ハイ此男のために不便な事をいたしました』『其りやア可哀想に、何しろ太へ野郎だ、併しマア貴女に怪我のなかつたのは何より、俺は今朝から山へ仕事に來たが生憎何も獲物もなく宿へ歸らうとすると、何だかドタバタ騒いで居る様子が何うも悪い奴のやうに思つたから、ヅトンと一發撃放した、マア宜つた、お前さんを助けて俺も快い心持だ、今夜は俺の所へ來なさい、一體何處へ行くので……』八『ハイ越後の春日山まで参るもので……』○『アヽさうかい、其れぢやア俺の宅も越後の方へ行く道の序でだ、明日は途中まで俺が送つて遣せるから安心して一緒にお出なせえ、此野郎の屍骸は此所へ投出して置いて宜い、爺さんの方は可哀相だが今茲ぢやア何うする事も出來ねえ、後で村の者を頼んで埋めて遣る、屍骸は此處へ置いて行つても何事もありやアしねえ、併し金や荷物は體へ付て置と不可ねえから俺が持て往かう、爺さんの懐中に金はないかね』八『イヽエ妾の所持の金子を預けて置きましたから懐中して居ります』○『さうか、其れは何よりだ、俺が持つて往つてやらう』と源右衛門の懐中の金を出すと返ます、身に付いた物は悉く取上げまして一纏めとなし○『サア娘や可哀想に嚇怖かつたらう、小父さんが背負つて往つてやらう』と彼の獵師が先へ立つて母娘を案内したのが荒寺、様子を聞くと之れも盗賊の手下で、坊主が頭で其者の言ふ事を背かなければ殺すと脅かされて居る、ところへ小太郎初め三人の者が泊り合せて賊共を片ッ端より叩き殺し、無事に親娘夫婦の對面をいたし八重が之れまでの長物語をいたしました、權助も其苦勞を察し涙に暮れる、小太郎初め一同代々夫婦を慰さめ、其夜は寺に明かして翌日お八重の話した場所へ來て見ると源右衛門五助の屍骸が空しく道路に仆れて居る、猶ほ共に源右衛門の屍骸は荒寺に持歸つて葬り、印に一つの石を置いて香花を手向け五助の屍骸は取捨て、ソコで一同打揃つて越後國春日山へ参り平賀志摩守方へ塚原の父娘は足を留めて厄介になる、鬼小島鐵の兩人は早速謙信公の御前へ出で遍歴の國々の事情を悉しく言上なし、且つ先年信州島居峠にて面會なしたる塚原小太郎勝義、一年餘たつて先日八王子にて再會いたし其節は斯様々々と[illegible]小太郎稲頭を助けた一伍一什を申上げると謙信公御感あり、彼小太郎は本朝無双の劍客と承はる、早く目通りへ召連れよとの御沙汰、ソコで小太郎を鬼小島鐵の兩人が案内して春日山の城内へ出る、初めて小太郎、謙信公のお目通りへ出でましたが實に其威風は四邊を拂ふばかり、弓矢の聖といはるゝ甲斐の信玄すら戰ひに於ては一歩を讓るほどの勇將、文武兼備の人、であるから小太郎も心服した、茲で鳥渡謙信公の略傳をお話しするが此方は長尾が本姓で、信濃守爲景の四男、享祿三年庚寅、正月廿一日寅の刻に越後府内の城で誕生した、俗説には毘沙門天の化身としてある、寅年の者は一體豪傑が多い、古の楠正成も寅年、徳川家康も寅年、此謙信なぞは豪傑中の大豪傑、酒に醉つて管を振る虎子の虎とは譯が違ふ、幼名を虎千代といひ少年の時から已に其氣は天地を呑むの勢ひがあつた

暦

五月十四日　火曜　九星
舊四月五日　辛酉
木命　七赤　西　定　女　引

▲七赤●[illegible]▲八白●[illegible]▲九紫●[illegible]▲一白●[illegible]▲二黒●[illegible]▲三碧●[illegible]▲四緑●[illegible]▲五黄●[illegible]▲六白●[illegible]

りん病

消渇で困る方切手
三錢送れ自宅で秘密に治す妙藥を
人助けに無代でお敎へ致し升
名古屋市南かじや町　武藤鶴吉

賛化病院

京城明治町一丁目　電話二四一番
内科　小兒科
入院隨意
無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治

◉現代の眞價

現代は科學萬能の時代で凡ゆる事物は總て廣汎に微細に科學的に研究せらる

是を以て如何なる理論も實驗も基礎を科學に置かざるものは其價値を認められぬのである本劑の如きは實に醫學上藥學上各専門家が深く科學的に研究せられたものであつて現在眼科藥中の泰斗たるは遍く世人の熟知する所で實に現代の眞價を發揮したものである

現今國内如何なる僻村僻邑の老人小兒に至るまで奇効ある眼病藥として大學目藥を知らざるものなきは即ち本劑の殊效抜群無比なる證の第一である

一般眼科藥として最も猛烈なる効力を有するは一たび試用した者の直に首肯する所で最も稀有にして最も偉効ある藥劑たるは蓋し同効劑中の第一である

本劑が支那全國は勿論遠く南洋諸島印度各地更に遠く米國に於ても偉大の信用を博し需用日に月に益す增加しつゝあるは眞に本劑が卓効を有する實證の第一である

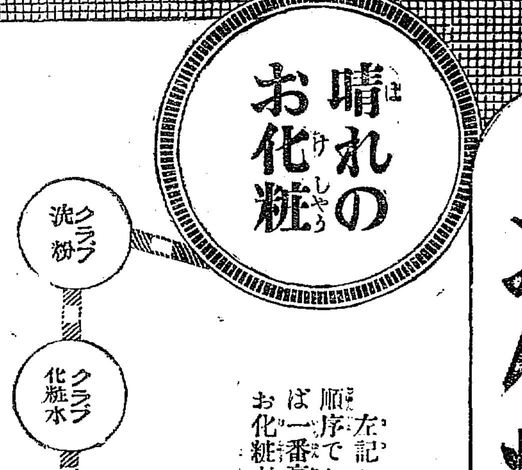
大阪市東區北濱二丁目
發行所　合資會社參天堂藥房
電話 本局 [illegible]

十才以下の小兒の爲めに特に小兒用大學目藥あり

美人になる……近道
お化粧鐵道……圖解

晴れのお化粧

左記お化粧鐵道の順序でお化粧遊ばせば一番高尚で美しいお化粧が出來ます



お化粧鐵道の説明

(一)日本名物クラブ洗粉でよく顔を洗ひ(二)クラブ化粧水を掌に垂らして顔から襟へかけ塗込んだ後(三)クラブ美身クリームを指先でよく擦込み(四)蒸タオルで輕く拭取り(五)一番高尚で美しい艶の出るクラブ白粉を化粧水で適度に溶かして板刷毛に含ませ襟は二重に、顔は襟より少し薄く塗廣げ乍ら(六)牡丹刷毛で白粉を延ばし(七)水刷毛で白粉を均して落付かせ(八)叩刷毛で水氣を取り(九)鼻叩刷毛にクラブ粉白粉を含ませて白粉斑を補ひ(十)クラブ頰紅で目の縁から兩の頰をぼかし(十一)其の上からクラブ刷白粉を薄く刷付け(十二)乾いたタオルを指先に卷いて浮粉を拂落し(十三)口紅を唇の内側から刷付け(十四)クラブ黛で眉を作りますと高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上ります(平日のお嗜みは右に準じてお知り下さい)

汽車

京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線 京元線(北行) 同(南行)

[illegible]

京城日報

第五版　十三日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

[illegible]一千九百十六年[illegible]順調に米國へ輸出し得るとせば[illegible]の保存する在荷約八九百萬反あり加ふるに内地其他製造業者の機械据付現在數は六萬臺にして一年額生産高は約二百萬反なるを以て年額生産合計は一千六百八十萬反に輸出する二百五十萬反を差引け

▲一千三百萬反 及び其他

米國政府が今後數回に亘り公布する輸入制限令中には必然許品を包含せしむ可しと豫期せざるを得ざ[illegible]

鈴木商店への濠洲電報に依れば香港市場に於ける錫相場は、橫濱神戸一號二百六十圓二號二百五十七圓[illegible]居るかを推想するに足るものあり[illegible]品として如何に巨額の需用を喚起[illegible]に非ざるが如し隨つて内地市場に於ける錫及び安質母尼等は一齊に[illegible]尼輸千噸の購入を發表せるは軍需ならんとの期待を抱くは理由なき[illegible]

各人各個の觀察

京城日報

凡そ一事件の發生に對しては、其の當否は論外として、各人各個の觀察を有するは當然也。獨逸が今回英國に對してなしたる講和[illegible]、[illegible]紙などは[illegible]獨逸の誠意より出しものに非ずれば、斷然不可容を絶叫し、他の或者は、本件を所謂獨逸一流の手段にして、徐ろに社會黨を手先として、露國を攪亂せる如く、今回は文治派をして、講和の交渉に當らしめ、武斷派は之を傀儡として、或手段を弄するやも測られず。然れども獨逸國内に於ける武斷派は、其勢力前日の如からざるが故に、或は暗中摸索的に、講和の提議をなせしに非ざるか、概して今回の提案なるものは、獨逸としては大分讓歩せし處ありとせず、歐提案にして果して事實ならば、聯合國としても、決して交渉の餘地なきに非ず、結局本交渉は、暫く暗中摸索の行はれたる後に非ずんば、其眞相は得べからずと云ひ、又他の或者は、今回の提議を果して事實となすも、其は唯英國のみに提議せしものなれば、佛、米等に對しては、果して如何なる交渉をなさんとするか、將又英國のみ提議を採容せんとする意思の存するとするも、佛、米が如何なる考慮を有するかは問題也。要するに今回の講和提議説は、或は講和開始の一階段となるべきやも、計られざるなりと云ふあり。又或者は、昨年十一月の獨逸政變に於て、七十餘歳のヘルトリングが、非戰派より中央黨に入りて内閣を組織せるは、國民の既に講和を欲求せし實證にして、今日の講和も、首相の背後にある、國民の熱望より來りしものには非ざるか、而して其條件の如き、獨逸の大讓歩なれば、聯合國に於ても、一概に拒絶するの理由もなかるべし、或は意外に迅速平和の局を結ぶやも計られずとなすあり。更らに或者は、這は全く獨逸の對内策よりせる、獨逸一流の奸計なりと喝破せんとするものあり。もとより其何れの觀察の當れるやは、早計に斷案を下す能はざるも、今獨逸の提出せし講和案なるものを見るに、全部五個條より成る、乞ふ吾人をして、之を短評せしめよ。

先づ白耳義の完全自[illegible]べしと稱するは、以て[illegible]を喚起せんとする處なる[illegible]、アルサス、ローレン二州の自治を認むと云ふは、以て佛蘭西の感情を慰め、トレンチノの一部を伊太利に讓與せんとするは、即ち伊太利の御機嫌取にして、巴爾幹及び阿弗利加植民地の處分を、列國會議に委せんと主張するは、其大讓歩を示さんとし、膠州灣拋棄の代りとして、支那に經濟的權利を獲得せんと云ふは、日本との衝突を避け、日本の人心を緩和せんとするにあるが如く、各條中南洋諸島に對しては、一事の言及する處なきは、其は或は南洋の如き、獨逸の問題となさゞる處なるべし。一見し來れば、叙上各觀察の如く、本條件が或は講和促進の、一階段たらんとするの觀無きにしも非ざるが、吾人は條中『東方は今日の現狀を維持す』なる一項を見るに及んで、本條は東洋の爲に、不可容なる事を主張せざるを得ざる也。

獨逸の東方とは、即ち露西亞の意なるべく、露國の現下は世界の最大問題也。獨逸主張の如くんば獨逸の對露關係は、今日の如く露獨單獨講和の儘にて、推行せんとするにあるが如し。然らば漸次露國が獨逸の勢力圏内に包攝せらるゝは、明白なる次第にして、露國と最も密接せる關係を有する我國に於ては、愼重なる考慮を廻さゞるべからざる也。何となれば獨逸が露國を制馭し得たる曉に於ては其實力に於て、露國は今日の露國に非ず、獨逸の露國たらずんば止まざるべし。若し夫れ露國を獨逸に委せんか、世界を擧げて獨逸に委するの覺悟を要す。斯る基礎の下に、或は講和の成立するものと假想せんか、如何なる和約も結局に於ては、將來の康寧を保障す可らざるは勿論、更に世界は慘禍たる現代を繰返すの、止を得ざるに至るべきを憶はずんば非ざる也。

朝鮮の書畫に就て　四

鮎貝房之進氏談

江の畫譜などが夫である。非常に卓越せる技能を發揮しあるかと思ふと其間に間の抜けた處があつて何處か不統一である。この點に至ては寸法の非難すべき隙がない故に私は良志は寧居と同じく唐人ではないかといふ疑を有つて居るのであります。況んや三國遺事には迹を善徳王朝に現はすと曖昧なる書き方をして居るに於てをやであります。これは是非諸君と俱に研究したいと考へて居ります。

次に他の二人は唐末所謂新羅末の景明王の時になりますが、三國遺事に傳へられて居る處に靖和弘繼といふ二人の畫僧があつたとある。これは餘程後代になりますから朝鮮僧侶に相違ない。唯憾らくは如何なる技能を有したやら不明なとである。興輪寺の壁に普賢菩薩の像を畫いたといふのであるが技術も凡庸で到底前二者には比ぶべくもなかつたらうと想像されるのであります。

次に高麗朝となると、これは大分時代も近くなるので新羅朝の比ではありません。色々な記録類も多少は殘つて居るので夫等に依て摸索することが出來る。併しこれは比較的のことであつて、私の蒐集しました畫工は高麗朝約五百年の間に於て僅に五十人内外に過ぎませぬ。これ等は全く朝鮮人が畫に冷淡なることを證するものであつて傳記等に至つては殆んど失せて居る。併しこれは私の淺見であるの罪であるかも知れませぬが若し今後發見された方は是非其の御發表を願ひたい。で高麗朝となると朝鮮古代の繪とは違つて朝鮮人の畫工も大分輩出して勿論一種の朝鮮畫といふ體も決つた。其れから朝廷では畫院といふべきものを内殿に設けて非常に奬勵したのである。殊に新羅朝とは趣を異にして王者自から畫を描き斯道に達した人もあつた。これ等は支那本土に模倣したので、當時支那の帝王は例の畫に堪能の聞ゑがあつた徽宗皇帝であるから、其れに倣つて高麗の王者にも畫に堪能なる人を生じたのである。其れは確か仁宗か明宗で宋末にかゝつて居る人である。

元の時代となると又恭愍王といふ有名な[illegible]方では李寧などいふ有名な畫人も出たが矢張り朝鮮人は畫に冷淡なるが爲めに[illegible]三國史記に單に率居一人のみ擧げたるが如く高麗朝に於ても李寧一人を畫人として方技の中に入れて居るのみである。この李寧は支那の種々な畫傳の中にも其の名を記されて居るが、これは李寧が支那へ行つたことがある爲めに夫れが支那人にも自然名を知られて居たものであらう。併し不幸にして今遺物の存するものなく、其の技倆を品隲することの出來ないのは遺憾でありますが果して高麗史に記してあるが如き名人であるや否やは疑問である。李寧は晉州の人少にして畫を以て名を知らる。仁宗の朝李資德に從うて宋に入り徽宗、翰林待詔王可訓、陳德之、田宗仁、趙守宗等に詔りして寧に從うて畫を學ばしむ。且つ寧に勅して本國禮成江の圖を畫かしむ徽宗嘆賞して曰く、新羅國以來高麗畫工使に隨ひ到る者多し、只寧を妙手とす、酒食錦綺綾絹を賜ふ。高麗史は斯ういふことを書いて居る。夫れを支那の方でも其の通りに寫して佩文齋書畫譜などにもこれが書いてある。果してこれは事實であるや否や。この徽宗皇帝の時代といふものは宋代でも特に美術の非常に盛んなる時であつた。

輝春觀光團の効果

槐翁

◎吾人が、輝春の同胞を歡迎するに當つて、聞きたいと思つたのは彼等の感想であつた。今日吾人は遺憾なく之を聞くことが出來て欣快に禁へぬ。吾人が、數日前彼等を南大門驛に出迎へた時は、皆支那服を著け、一見紛ふかたなき支那人であつたが、九日の歡迎會場に於ける彼等は朝鮮服でなければ、洋服に變つて居つた。

◎彼等の支那服を着用して居るのは彼等が、支那に心醉して、其の形まで、支那人を模倣して居るのかと云へば、蓋しさうではないのである、彼の無智蒙昧にして、且暴戾なる支那人の壓迫を、免れんが爲めの窮策に過ぎないのである。

◎彼等は、其工場を參觀した時、その壯觀を見て『支那の官憲を連れて來て、朝鮮のこの文明を見せて遣りたい。この懸くとも文明の進歩を見たならば、彼等も我々に對して、壓迫を加へることはあるまい』と切齒扼腕して居つた。

◎是れを見ても、彼等が如何に支那人から壓迫を受けて居るかゞ窺はれる。而かも尚ほ且つ彼等が、この苦痛を忍び、立派な母國を離れて、異郷に其生を送らんとするのは、全く彼等の朝鮮に對する誤解に基いて居るものと謂はねばならぬ。黃團長は、九日歡迎會場に於て、趙子爵の歡迎辭に對して『我々は、從來異郷に在りて總督政治に誤解を有つて居たが、今回此地に來りて、諸般の文物制度を見るに及んで、全く長夜の惡夢から醒めた』と述べたのは、僞なき告白ではあるまいか。

◎前日吾人は、吾人の至誠の在る所を彼等に知らせたいと希望して置いたが、此の數日間に於ける當局者並に在京人士の至誠よりの歡迎は、彼等に深き印象を與へた。黃團長は『食卓を賑はす山海の珍味よりも、錦上花を添ふる妓生の舞樂よりも、在京人士の熱誠なる歡迎を感謝せずには居られない』と。在京の人士は、この答辭を聞いて、何れも歡喜の情に滿たされて居つたが、吾人もこれを見て、恰かも我事の如き嬉しさを感じた

◎就中吾人の最も喜悦に禁へざるは、彼等が、工業專門學校に於ける生徒の實習を見た時の感想である。彼等の生徒が、或は鍛冶工となり、或は陶器工となりて、種々の實習や、機械をして居るのを見て、『自分等に男の子があれば、直ぐでも入學させる』と云つて居つたが、教育機關の不完全な輝春の如き地に居る彼等には、殊に其の感が深かつたであらう。吾人は其の實現の一日も速かならんことを勸告して待つ。

京日報詩壇

春夜書懷　　內田　六岡

燈殘香燼欲三更。忽聽巡檐數滴聲。此雨明朝抽寸草。應催原上踏青情。

評曰　溫麗『字錬』才思可見。

豆　腐　　木田　芳洲

純白玲瓏雪作膚。腐名憐汝傳江湖。味平淡要富滋養。常賑吾家貧活厨。

評曰　構思新鮮、磨字活字措得妙。

支那文學の變遷（二）

今關天彭氏談

支那民族は怎ういふものか古來文學を尊重すること極めて厚き傾向があるので、政治、實業其の他各方面の事物に對しても、文學を多少解さなかつたならば、支那の事情は分らないのであります。かく文學を尊重する傾向がある故に何れの時代と雖も文學の流行を見ざる時代はないのでありまして、隨つて文學の變遷する有樣に至つても極めて複雜であつて、これが説明を試むることは隨分面倒でありますが、今極めて簡單に其の要を摘んで變遷の狀態を御話したいと思ひます。

支那文學變遷の狀態はこれを大別して四つの時代に區劃することが出來ようと思ふ。即ち一は文學の創始時代、二は詞藻の流行時代、三は理論の流行時代、四は詞藻と理論の並行して流行した時代であります。斯樣に四つに分けて御話を致したいと思ひます。

一、文學の創始時代

要するに支那の三千年の昔から今日に至るまでの文學の變遷は、周末に於て經書の完成に引續き、諸子百家の群り起つた時が最も活氣ある時である。支那文學の範圍はカナリ廣大であるけれど、この範圍を出づるものでない。先づ經書の成立を申します。

經書の結選

經書といふのは周の敬王の頃孔子が昔から傳へられて居る古聖賢の書かれたものに、大整理を加へた。其の整理を經たものが、經書として今日に至るまで尊重せらるゝのであります。其の中の書經は堯から周に至るまでの勅語敎令の類を一纒めにしたもので、詩經は殷、周、重に周の時代に民間に行はれた歌謠や朝廷の儀式に用ふる歌、宗廟の祭祀に奏する歌、宴會に用ふる歌などを集め、易は卜筮の書物だそうですが、其の理論の出發點は、天地陰陽の微淵なる點から出發して居るのであるから、マア東洋の哲學と謂つても宜いのであります。又禮記は冠婚葬祭、或は朝聘即ち外交、官の用ふる儀式なり、鄕黨の色々な禮式などを集めたものであります。次に春秋でありますが、春秋は孔子が魯國の春秋(史の名)に筆を加へて、自分の主張する思想の下に史實によつて褒貶の意を寄せたる一の變體の歷史であります。この二つのものが今日まで殘つて居るが、これ皆孔子の大整理に依つて、經書が出來上つたのであります。經書が孔子に依つて出來上つたのは周の敬王の時である。この時代を我が國に引當てると懿德天皇の時に當る。懿德天皇の時に、支那では既に斯の如く文學が發達して居つたのであります。

易斷

高島易斷本部

高島易斷本部主任 高島呑象[illegible]
受付午前八時より十二時まで午後一時より[illegible]
事務所 京城本町二丁目清光館内（電話二三五〇）
神易協會

讀め!!活氣旺溢の五月號

時の人

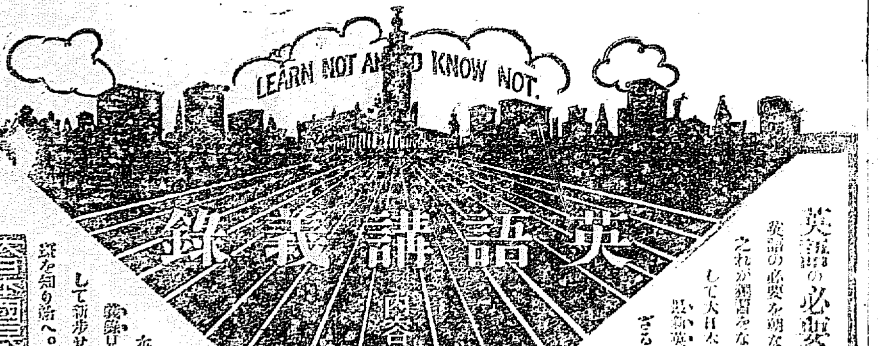
體裁 珍中の珍

—重要目次—

□戰爭の目的……ロイド・ジョージ
□ウヰルソンは凡骨か
□東北の名花霞ヶ關へ……農學博士 横井時敬
□死を覺悟せし原敬氏……冬湖
▼女史を新渡戸博士に紹む書……野七人
□晶子と……梅子
□大學教授月旦……光榮の後閑菊野
□白鳥庫吉……岩間清水
▼問題の結城素明……雛鄕市
□農商務省の改革論……官制
▼市川左團次に與ふ……遊勞
□實業界の雄將（二）……
□和田豐治……
□最近の紹介及び學士
□九州の花形……京都事件 四二宗尾川
▼中村春二は食せものＸＹＺ
□久米正雄 高照時代 長井 普三
▼新劇おぼろ……梅の人
▼高橋徳子さん
▼ある……つばめ
定價十八錢 郵税一錢 半ヶ年一圓二錢 一ヶ年二圓五錢
東京芝白金臺町 振替東京一三〇三三
時の人社

内容頗る深刻

レール 各種 多數持合あり至急御注文乞ふ
大阪市西區西長堀北通五丁目七番地
合資會社 丸加商店
電話新町一五三二 一五四一
電略（〇）



英語の必要急又急!!
英語の必要を痛切に感じ之れが獨習をなさんとする者にして大日本國民英語學會の最新英語講義錄に依らざるは滑稽あるを知らずして迷路を徒歩するが如し
朝報は評せり
内容
に於て設備に於て本邦唯一の評ある本會の最新英語講義錄見本附會則を要求して新歩せる新教授法の一斑を知り給へ。見本早速送呈
大日本國民英語學會
東京麴町九段上（電番三四七〇）

電氣教科書
東京神田錦町 電機學校 振替東京一三一八四
[illegible]

測定器[illegible]
工學士 高津清述
工學士 米澤政治郎述
[illegible]

勸業債券高價買入
貯蓄の實行は最も手輕なる月賦賣
一ノ組 六八回 六七回
三ノ組 六十八回 六十七回 六十六回 六十五回
二ノ組 六十七回 六十六回
二千圓の當籤 每月くじの樂める組賣
支部出張所 代理店增設
大日本勸業合資會社
東京丸の内有樂町一ノ三 振替口座東京一五七六

相撲取組
蟬ノ初聲

幼年世界

六月號
お子樣方無二のお友だち
東京本町 博文館

幼年畫報

芝居

優等清酒

醸造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話四一四・四二九番

各種鑛物分析依賴
金銀精製に應ず
新發見鑛區買入
京城黃金町一丁目
中村分析所
電話一七[illegible]

▲夏物製造開始▼
洋燈類各種 鐵道用硝子 瓦斯セイド 燈用硝子器 理化學用各種 標本瓶各種 色硝子 食器類一式
總督府醫院 京城電氣會社 各官衙 山岸機械部 京城林町 御用
小野玻璃製造所 京城永樂町二丁目 電話二七九一番
小野玻璃器販賣部 電話一八七九番
瓶類特約店
村上瓶店 京城黃金町二丁目 電話三三四番

獨對過激派政策
西伯利に對する政治的野心

獨の對露過激派政策は初め是を利用して露西亞の政治組織を破壊せしめ其の支離滅裂局面收拾すべからざるの間に其の政治的野心を遂げ領土を獲得するや忽ち態度一變反過激派を援助し所在に獨立王國を建て之れを其の保護の下に置かんとせるは芬蘭小露西亞の例に見るべし、而して西伯利に於ては俘虜をして過激派に策應せしめ百方秩序の壊亂に腐心しつゝありしが最近に於て西伯利にも反過激派熱の旁礴たるあり之れを利用して獨逸が又一轉して反過激派の獨立國出現を援助するなきを保せずと傳へらる(哈爾賓特電)

セミヨノフ軍の宣言
カルイムスカヤ驛占領の準備中

セミヨノフ軍は十日黒龍江鐵道の分岐點なるカルイムスカヤ驛を占領する手配をなせるが此結果滿洲里と同地間約六十里はセミヨノフ軍の手に歸する次第にて後貝加爾州の首府チタ迄は約四時間の行程にて達するを得べくセ軍の幹部は同地占領の期遠からざるを宣言せり最近過激派軍は其力と恃む俘虜との間に不和を生じたるが其原因頗る興味あり過般ボルジャの戰闘に於て自衛軍に乘じて軍の側面に逆襲し來りたる墺匈國の俘虜二十名は過激派軍の狼狽の結果其砲彈の爲めに十五名の死傷を出せる爲め俘虜軍は非常に憤慨し敵味方を辨せざるものを應援する義務なしと漸次離散し一方セ軍の前進急なるを見過激派に反感を抱ける人々所在に自衛軍を組織し蜂起するの兆あるを見チタを放棄して退却せんとの議過激派軍にある如く兎も角カルイムスカヤ驛にしてセ軍の手に入らば沿黒龍州の過激派は袋の鼠たるべし(哈爾賓特電)

セ軍の新占領地

確報に依ればセミヨノフ軍は益々優勢となり五月十日黒龍江岸のヤレムスカエ、グレグキロ及びアトアノフカヨを占領せり同地方民はセミヨノフに對して同情し居れり(北京特電)

西伯利と糧食問題

イルクツクに於ける各國領事の間には北滿地方よりイルクツク地方への糧食問題に就き意見二派に分れ一は供給すべしとし一は過激派の手に渡る虞れありとして之れに反對し意見未だ一致せず(北京特電)

獨撃沈軍艦四十餘

英國潛航艇の襲撃に遭ひて沈沒せし獨逸軍艦は四十隻以上に及びたる故に敵は潛航艇以外の艦艇の港外に出づるを容易に許さず(倫敦電報)

米艦隊司令官言明

米國出征艦隊司令官シムス中將は次の如く言明せり「聯合國の船舶は益々增加しつゝあるに反し敵國の潛航艇は漸次其の勢ひを減じ今や彼我の形勢は漸く一變せんとするに至り今より半箇月位にて聯合國の船舶建造率は喪失率に對等するに至るべし」(倫敦電報)

北軍敗北

湖南に南軍の爲め擊破されたる湖南第二路の兵は九江南昌に續々逃げ來れり(北京特電)

南方の民黨有力者密かに山東に入りて土匪を煽動し北京政府に反抗せしめんとしつゝありとの說あり(北京特電)

土匪猖獗

山東省に於ける土匪は勢ひ益々熾だしく東平地方は殊に猛烈を極む

山東と我產業
濟南に發展せよ

過般青島濟南一帶の地を視察歸來せる代議士秋田寅之介氏は氏が經營の青島製粉株式會社並に山東省における我產業の將來につき語つて曰く青島製粉は濟南に分工場を設くる事とし津浦線山東線の交叉點なる鐵道用地三千坪を購入する事に決せるが濟南分工場は會社創立當時よりの計畫にして今日之を設け置かざれば戰後に至り

▲獨逸が該地に 製粉工場を設け或は此地の產業貿易等に手を延ばしたる曉日本の山東に於ける經濟戰上の地位は孤立無援となるべく依つて今回の分工場も日支合辦事業となし彼の地の大官大商や實業家連は擧つて合辦事業に贊成し株を持つに至れるは山東における我經濟的地盤を築く上において心強し濟南は日本にとりて甚だ重要の地にして山東省における我國將來を期待せんとする以上はこの際是非とも濟南に力を入れ經濟上牢として拔くべからざる勢力を扶殖しおかざるべからず山田領事官補の如き予と會見の際も頗るこの事を力說せるが同地には邦人の居留すべき家屋なきを以て予は山田氏に二三萬坪の地所購入方を依賴し來れり濟南を生かす事は結局

▲青島を生かす 事になるが青島は東洋平和上我國策より見るも又經濟上より見るも絶對に支那に還附すべき地にあらず青島民政署の施設が山東に於ける支那側の反感を買ひたりと傳へらるゝは嘘傳にしてソハ支那政府によからざる支那人の一派が爲にせんがため煽動せしを誇大に傳へたるものゝ如く現に予が山東督軍府督軍次席兼財務部長安茂寅氏と會見せし際の如き氏は山東省に於ける日支人提携の要を力說し支那は何等日本に他意なしと說けり(同前)

議員視察團感想談(一)
水利事業
濱田團長談

漢京二日、眼の及ぶ限り耳の屆く限り見聞した、隨つて感想も少くない、大體に於て發達の顯著なるに驚き、甚だ欣ばしく感じたが、殊に鮮人同化に關する總督府當局の方針なり、施爲なりが、吾輩平素の

▲抱懷と一致 せるのを見て、頗る愉快であつた、尤も中には多少言議を挾む餘地が無いではない、視察の第一日に於て、鮮人の學校を參觀したが、女子高等普通學校でチョット教科書を手に取つて一二頁展げて行く中に、之は今少しく材料を選ぶ必要があると思つた、勿論教育當局者も十分注意を拂ひ、苦心もして編纂したものであらうが、聊か物足らぬ節がある、歸途總督府當局者と意見を闘はして見たい、是等は些末の事項の樣であるが、實は輕視すべからざる事柄であると信ずる、重大と云へば茲に一層重大なる問題がある、其れは

▲朝鮮の水利 事業である水利事業は單に朝鮮のみの問題ぢやない、之れは母國の食料問題と結著けて考ふべきものだ、即ち内地に於ける食料の不足を、朝鮮の產米に依つて緩和することは、今日以後、唯一無二の良法と爲なければならぬ、中央政府及び內地人は、內地のみで食料問題を解決しやうと焦慮つて居るが、限りある地積、限りある地力、如何に耕作法を改善し收穫を殖すとも高が知れて居る、乃で大に朝鮮に水利を起し、米の產額を增加するのは喫緊の事である、總督府も亦此方面から考へて貰はねばならない、朝鮮の事は

▲朝鮮で解決 するのだ、と力むでは結局日本國の不利益に成る、會計の獨立も必要だが、日本の食料問題の解決に貢すべき水利事業の如きは、之が爲めに累せらるべき筋のものであるまい、かう前提した處で豫算は未だ幾許の資力を要するものであるかを調査して居ないが、內地の例を以て推すときは、三千萬や五千萬の金ではダメだ、然れば國の事業として先づ治水工事を施し、又多額の經費を要する大水利工事も國營とする、假りに工費を二三億と見積るとすると其經費を何處から捻出するかと云ふ問題が生ずるが、必要の前には何等かの方法が出て來るものだ、例へば戰後、我國では軍備の

▲大擴張を行 ふか、否らざれば縮少といふことに成るであらうが、幸に擴張不必要とでもなれば、其方の金を振り向けても可い譯だ、縱し軍備擴張の必要ありとしても、我國の財力は、重大なる食料問題を解決せんが爲めに二三億の金を投じ得る丈けの餘裕はある筈だ、而して之が間接の效果は、夫程の大金の大部分が水利工事の爲めに朝鮮に落ちれば、朝鮮の民度は必ず昂まつて來る、社會の改善は出來る、同化事業を資くるもの亦一通りであるまい、之は餘談だが、郵便貯金が、內地人二十五圓平均、鮮人十錢平均といふぢやないか、何でも無いことの樣だが、斯く迄に民度に懸隔があつては同化も六ケ敷からう、兎もあれ、朝鮮の水利事業は單に總督府の

▲財力に委す べき問題ではあるまい、山縣老公の如き、我國の食料問題に苦心して居られるから、歸つたら早速此問題を提げて高見を叩いて見る積りだ、食料問題の解決は、積極的には出來る限り米の產額を增進せしめ、消極的には雜穀を食ひ慣らしむるの一事より外には無いのだから、朝鮮に水利を起して米の產額を殖すことには、老公も恐らく異存はあるまい、吾輩は之を政界の問題にもしたい決心だ。

大阪だより

▲電氣企業界傾向 電氣事業と化學工業が工業界に於ける重要の地位を占め此等の事業の盛衰如何は吾が國運の係る所にして就中關西電機製造業に從しつゝある一部の有力者は夙に歐洲戰後の資力及組織をして歐米先進國に後れざらんとする深謀な合同の必要を痛切に感じ近き將來に於て東京芝浦製作所に對抗するに足るべき資力と組織ある一大資本會社を併合の方法にて實現せんとして考慮しつゝある一部の有識者の存するあれば近き將來に於て目下催進せられつゝある此等の計畫機會を見て發現せらるゝもの、如たま一部の有力者は大阪電燈製作部、大阪電機製造、川北電氣、秋風電機等の二三會社の合同を策し一段落とし進捗せしめたる後に他の二流三流會社中右の會社と合併せらるゝに至るやも知れず孰れにしても戰後の當地の工業界は斯かる大資本大組織的の基礎を鞏固ならしむべし

▲生絲鈍狀恢復 生絲界は米國の制限說が全く虚報にして打つて一般の强硬に乘出し定期相場は暴騰を被りたる賣方の窮策ならんと疑團氷解せられしと共に人氣は却つて一時の暴落値段各品九十圓方引返したるのみならず現物取引には信州上一番手五百五十圓臺には相應の買氣ありしに小口ながら千五百七十圓の取引成立したるが商館筋は買氣旺盛なるも棒商の相場として安値を狙ひ容易に乘出さゞるも新絲は先も步々行はれ氣配强硬なるを以て賣方も左右なく手出せず機會待の狀なれば依然好調を呈し高値反落の懸念も左したる勢力なく各地の養蠶家は非常の强氣にて生繭產高も著しく增加すべき狀勢なり

▲印棉特許問題 既報印棉輸入特許の件に關し六日紡績聯合會に入電ありし孟買情報に依れば日本に於ける印度棉花輸入者は日本駐在英國大使の認可を受けたるものに限る件に就ては印度に於ては未だ何等の報に接せず若し本件にして印棉輸出制限の結果として起れるに非ざれば之が爲め對日輸出に關し左したる不便を來すことなかるべしと想像すとあり之に依れば前報は確實の報に非ずして單に豫想の報道に過ぎざるが如し更に詳報を待たざれば眞相は明かならざるべしと

▲製茶輸出好調 製茶は取引時期に際し外館筋の買氣旺盛にて米國某商館より濱松支店への入電には既に一萬箱の註文整ひ更に一萬箱の註文見込あれば二千噸の船腹必要なりとの報あり以て需要の前途を見るべく又外館筋は店員を各產地に派して上等品の成績を取調べ出荷方を交涉するなど商勢氣分動き來りたるが新協定運賃率は一貫目六十二錢五厘となり前年の一噸十二弗に比し一貫目二十五錢の增加を來したるもの需要者側の負擔に屬すべき見込なりと(大阪支局)

國境貿易狀況

本年一月より三月に至る咸鏡南道陸接國境貿易額は輸出一萬六千百六十二圓四十五錢輸入五千九百六圓九十七錢にして輸出の主なるものは打綿、乾鰮魚、石油、白天竺布、燐寸、大豆、大麥、食鹽等輸入は白蔘、石炭、支那燒酎、大豆油粟、大豆、葉煙草、精栗等なり今之れが稅關出張所に於ける取扱び計數を見るに左の如し

稅關出張所名	輸出額	輸入額
惠山鎮	六、六五五圓	二、八〇〇圓
仁遮堡	五、六〇五	一、三九三
新乫坡鎮	一、二二六	一、五六四
羅暖堡	二、七七四	〇、一四九

於青島の漁況

四月中於青島に於ける漁業狀況を聞くに重に鱈延繩にして主漁場は於青島にして從漁船は全北二十六隻忠清十四隻一隻平均五十二圓二十錢の漁獲ありと其漁獲物は鱈九千四百尾價額千八百八十圓鰈四千百五十尾價額二百七圓五十錢なり其他山口縣漁船四隻は鯛千六百尾價額三百二十圓鰈八百六十尾價四十三圓の漁獲をなし一隻平均十圓七十錢の漁獲也

畜產組合設置

咸鏡南道安邊郡に於ける畜產同業組合設置に關しては發起人黃斗永氏外[illegible]名より認可申請中の處十日附認可の指令ありたり

宇佐美長官出發

宇佐美內務部長官は事務打合の爲め十二日午後七時五十分發列車に搭乘東京へ向け出發せり

大邱雜信

▲兩電併合 大邱電氣會社(資本金十萬圓)は咸興電氣株式會社(資本金四萬五千圓)と併合し大興電氣株式會社と改名し本社を大邱に置き咸興に支社を設くべく豫て其筋に認可申請中の處愈五月三日附にて認可の指令に接したるより大株主と協議の必要を生じ社長小倉武之助氏は十三四日頃上京すべく而して六月上旬總會を開き株式變更並に役員の選擧を行ふべし

□北鮮樣中より

兒島

總督を始め一行大元氣也。

京城早曉所見
野に採りて五月花賣る朝寒し

汽車中所見
朝霞猶耕直き捨てて畑打つ
驛に積む松の木の根や草萌る

船迹將軍の詩に和す(三句)
‖葉花十里欵冬風‖
菜の花や十里の原のちぎれ雲
‖五月如村景不殊‖
展開す繪に似て五月里遠し
‖一路初夏入晚春‖
かへり見る若葉や更に花に入る

海上
甲板に五月雲見る山淡し

序に船迹將軍の句を入御候
雲雀鳴く此處弓裔の夢の跡　船迹
將軍の巡視の道や躑躅燃ゆ

巴里三種

大學改革案で教授の停年六十歳となつて居るが之には大分老人側の反對があるらしい▲理科大學の藤澤利喜太郎博士は熱心に此說を主張と云ふよりも首唱して居る▲而も博士は最う六十に手が屆きさうながら面白い▲改革派には何の科でも少壯者が多いが醫科丈けは順繰りに頭が閊へて居るので入澤達吉博士などは少壯派と呼ばれて居る▲法科の仁井田、小野塚兩博士の如きは少壯派と云はるゝのは氣恥かしいと云ひながら出て見ると▲入澤博士がチャンと納つて居るので兩博士も急に元氣付いたとは罪がない▲田尻東京市長が物に動ぜぬのは有名な者だ▲市長がまだ大藏次官であつた時大きな地震があつた▲時の藏相渡邊國武子を始め當時役人だつた早川千吉郎君などは▲ソレと云ふや先を爭うて飛び出したが唯一人田尻君の姿が見ゑぬ▲一同心配して居ると次官殿煉瓦など落ちた時の用意に椅子を頭から被つて悠々と家外に出で▲すきしたもので大に沈著振を發揮したさうだ

◉湖南四川戰況

峽內に散在する南兵討伐中なるが近く掃蕩さるべく伍光新は貴州巴[illegible]……缺乏を告げ爲に物價騰貴したる

◉毒瓦斯の種類

[illegible]硬化水素燐化水素砒化水素アー[illegible]シン(二)窒息作用を爲す瓦斯此內には鹽素炭化酸鹽フォスジン[illegible]するものである◆毒瓦斯に對抗する現今ある唯一の方法は瓦斯除の假面を被るにある[illegible]し或は其以上長き時間毒瓦斯が漂[illegible]ようと無効になる近頃獨軍が使用する毒瓦斯中には二日間も地上に[illegible]

◉日曜學校でお伽講演

◉龍山園藝大會

龍山鐵道及び民間聯合の園藝大會は十二日[illegible]

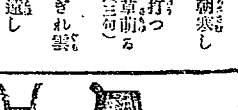
(築町)▲三等傍島(鐵道)▲四等吉岡(鐵道)▲五等中尾(驛前)

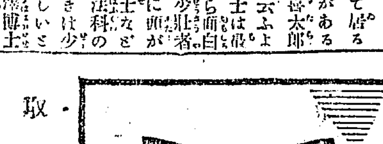
◉泥棒大工處刑

三重縣生[illegible]

▲警文 風强かるべし
▲氣壓中心 黃海中部七五四粍
▲進行方位 東北東
▲天氣 降雨あるべし

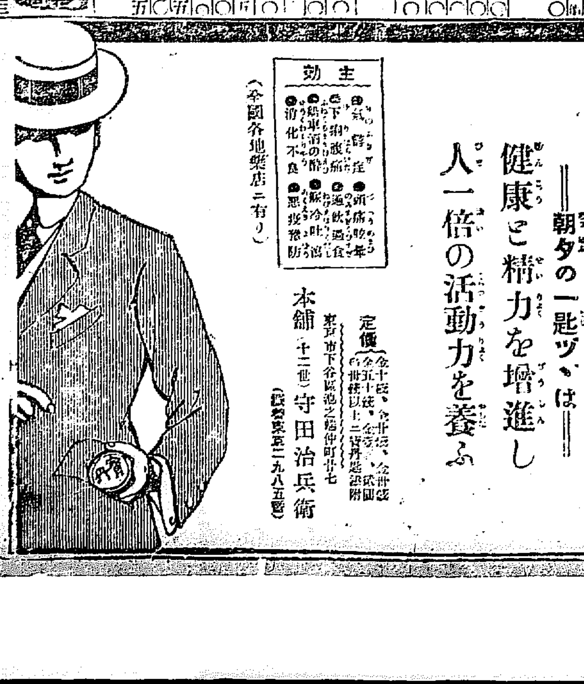
購買 龍山陸軍倉庫
靴、舊麥、格納箱、詳細ハ五月十三日以降ノ朝鮮官報ニアリ

中古靴

中古編上靴及短靴 一號 金壹圓五拾錢 二號 金貳圓 三號 金貳圓五拾錢 四號 金參圓
中古深ゴム及變形 一號 金貳圓也 二號 金貳圓七拾錢 三號 金參圓八拾錢 四號 金四圓五拾錢
品質優良なる中古靴御取揃へ有之候御下命被下度候
御注文數次第送進呈 定價表御一報あり度し
文の節は足袋[illegible]
陸軍御用達 品靴新古靴卸小賣 東京本郷春木町八番地 倉持古靴店 振替東京二〇五三九

全部取揃

タムラ帽子店
東京京橋區南傳馬町 (電京二七一一)(振替一二一〇一五)

桑種特價提供
◉鹿兒島產 一升に付 紙辛格實 金五圓五十錢
◉鹿兒島產 一升に付 普通桑實 金四圓
桑實生苗養成は我播法より恰る種子にあり發芽成育のものを當分右の値段にて御申受可申候今後如何に變動するやも不計候間至急御申込下され度候
京城明治町一 洪農園 振替京城四八四七番

最新刊
書名 著者 定價
◎支那の眞相 法學士大河平隆光著 定價一、七〇
日本債權各論 鳩山秀夫 一、五〇
債權各論分冊第二編 鳩山秀夫 一、九〇
金剛山探勝案內書 [illegible] 四、〇〇
生活の花 長與善郎 一、四〇
誰れにも出來る最新寫眞術 上田竹翁 九〇
村上浪六著 ◎流刑 世間學 九〇
婦人問題より見たる女子大學批評 一條忠衛 一、〇〇
新法文範作文大觀 內山月技 一、〇〇
これこそ本當の商賣 今野 一、二〇
貸金を早く取る法 武智盛豐 一、〇〇
自宅療法 本草研究會 六〇
死の蔭に 德富健次郎 一、〇〇
林氏中等教育代數教科書演習問題通解 五〇
糸の平 內 長編講談文庫 三五
飛行少年お伽噺 巖川淡水 七〇
◎算術自由自在 金谷二郎著 定價一、四五
京城本町電六八四、二〇八六振京城二五七三 大阪屋號



主効
●氣鬱症 ●下痢腹痛 ●船車酒の酔 ●消化不良 [illegible]
(全國各地藥店ニ有り)

此一匙が生命の綱
夜中の急病、外出先の急病に、無くて叶はぬ寶丹一匙
何んでもかでも御用意が肝心!
キ、メ本位の懷中良藥
寶丹
—朝夕の一匙ヅ、は—
健康と精力を增進し人一倍の活動力を養ふ

定價(金十錢、金廿錢、金卅錢、金五十錢、金壹圓[illegible])
東京市下谷區池之端仲町廿七 本舖(十二世)守田治兵衛 (振替東京二九八五番)

優等清酒

永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番

京城本町二丁目(壽館前) 電話二二六番
高井醫院
內外科 小兒科 花柳病
院長 醫學士 高井貞治
診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄
副院長 正六位勳四等功五級 千葉醫學士 松崎正彥

商議行動にて宜昌に向ひ續發せられ又軍艦憲藤は五月七日朝沙市を出帆し宜昌に向け遡江したりとの事なり北軍は目下貴州宜昌間の山と近傍との交通杜絶し一般の物資…りと云ふ尚宜昌に於ては依然人夫の強制徴收施行せらるゝ結果同地…

…現加する模樣である最近傳ふる所に據れば此等の瓦斯を大別して左の三種とし得る（一）直接即時に人體に有害なる瓦斯此内にはシアン化水素青酸…セトン等を含む ◆嘗て報道されたる如く獨軍が胡椒秦椒唐辛等を瓦斯彈（催涙彈）製造の原料として使用することが事實とすれば此毒瓦斯は（二）に屬するものである併し死瓦斯除の假面は…大概毒瓦斯が大氣一千立方呎に就き一立方呎ある場合に於て四時間有効で其以上濃厚に毒瓦斯が散布…

◎暴風警報（十二日午後…發表）▲第…文 風强かるべし ▲氣壓位置 海中部七五二耗 ▲進行方位 東北 ▲警戒區域 咸鏡南北道、江原…

…お伽講演を依頼したるが『カステラ』と云ふ教育講演をなし多大の感動を與へたり

…る盛會裡に午後十一時閉會したり當日の優勝者は左の如し ▲一等立石（鐵道） ▲二等 滿生

（二）は京城地方法院にて…の處分となる

◎暴風警報（十二日午前十時三十分發表）…道、沿岸及び内陸…

中央停車場問題

▼事務室が忽ち病院 になる獨逸の停車場、之も出來れば應用して欲しい！

◇歩廊に便所を設けよ

總督府醫院長醫學博士 芳賀榮次郎氏談（下）

確か伯林の停車場には救護組合の出張所があつたと思ふが救護所の便利なことは單に普通の傷病者を救濟し得る許りではない一朝傳染病が流行して汽車檢疫の必要を生じた場合なぞ救護所は直ちに檢疫所となつて遲滯なく臨機應變の手段を講ずることが出來る必要がないと言つて了へば夫迄だけれど有ればドノ位便利か知れない一つものを

◆二重にも三重 にも使用する事の上手な獨逸人は停車場の如きも唯汽車の發着所として放任して置くことなく利用の出來る丈利用することに勉めて居る例へば事務室の如きも單に普通の事務室として設計せず特別の考案を加へて置いてイザ戰爭と云ふ場合或は不慮の天災地變で澤山な死傷者が出來たと云ふ時なぞ忽ち此事務室を救護室とし寢臺を並べ

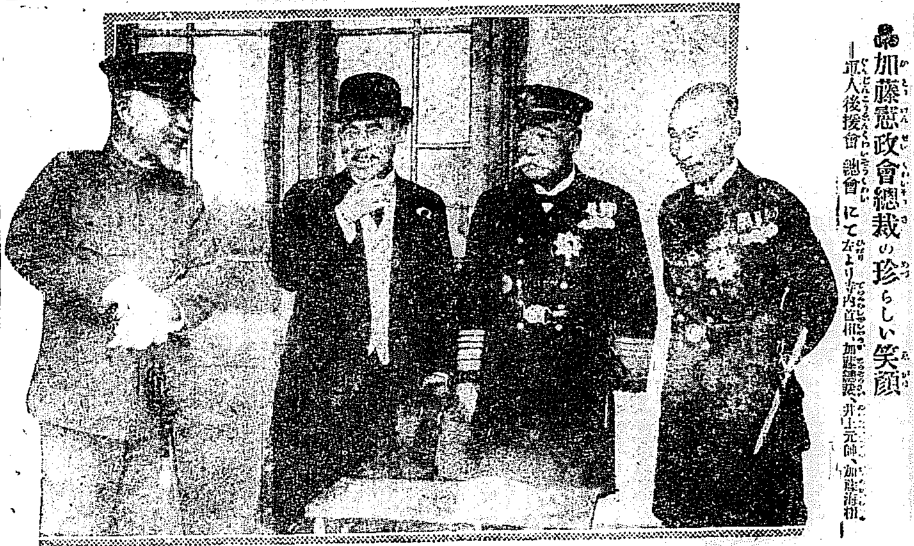
◆手術臺を置き 多數の傷病者を收容することが出來るやうになつて居るが之なぞは僅かに一舉手一投足の勞であるから費用の許す限り應用して欲しいと思ふ夫から之は前段述べた便利本位と云ふことゝ關聯した話しであるが歩廊にも亦便所をこしらへて貰ひ度いものである今の南大門驛には之がない爲め一々構外に出ねばならぬ俄かに便意を催した時なぞ甚だ當惑する其結果心なき人は

◆處嫌はず用を たし多少體面を重んずる人は客車便所へ雪隱れする、ところが客車便所は底拔けだから結局は處嫌はず用をたすのと何の選ぶところはなく其不潔不衞生に至つては全く言語道斷鼻撮みもならぬ之では朝鮮の中央停車場も誠に以て恥しい話しではないか又不潔不衞生と云ふことは全然論外としても人として便意を抑へる程難儀なもの苦痛たるものはない、だから斯うした

◆苦痛を輕減し 旅客の便利に資すると云ふ點から云つても是非新築の南大門驛には歩廊に便所を特設して戴き度いと思ふのである其他衞生上の施設としては換氣採光に留意することゝ土間に改良を加へて餘りに塵挨の立たぬやうにすることなど多々あるが換氣採光の問題なぞは設計者に於て無論手拔かりのないことゝ思ふし後者に至つては

◆枝葉中の枝葉 に屬する問題であるから今更しく茲に喋々する必要もあるまい以上述べ來つたことが果して當路の參考になるか否かは第二段として之丈の事を開陳して置く（終り）

中央停車場問題も回を重ぬること正に十數回、專門家非專門家に亘つて名論卓說を紹介したが既に研究する丈は略ぼ研究し盡し此上根本に觸れた問題もないと思ふから上揭芳賀博士の談話完結を機として打ち切ることゝする



◆加藤憲政會總裁の珍らしい笑顏 ＝軍人後援會總會にて 左より寺内首相、加藤總裁、井上元帥、加藤海相

◎九時間で仁川へ徒歩旅行

▽京城高女生徒の新しい試み

京城高等女學校では十一日例月の通り各學級の遠足會を催したが四年生八十餘名は仁川に向つて徒歩旅行を試みた、生徒は

◆曉の星影 未だ消ゑやらぬ頃ほいから集合所になつてゐる南大門驛前に集合午前五時三十分同所を出發した生徒の扮裝は三分の一が下駄殘りが草履で道々龍山方面の生徒を集めながら永登浦に到著したのが八時十分前で此處で十分間休憩

◆梧柳洞に 九時五十分著此處で第一回の晝食を攝り四十五分間の休憩、素砂に著いたのは丁度十二時で折柄小學校の運動會で賑つて居たので三十分許り見物の後次ぎの富平では休み無しで此處から足の强い者は强行軍で朱安に到り第二回の晝食で三十分の休憩をしたが愈々仁川高等女學校へ到著したのが

◆早い者は 午後五時十五分其他の者も五時過ぎには一人の落伍者も無く全部が無事に到著して同校で多大の歡迎を受け午後六時五十分杻峴驛發列車で歸途に就いたが兎に角女子で十里の道を前後十一時間之から休憩時間を控除した約九時間即ち一里を五十分で踏破したと云ふ事は多大の成功と云はねばならぬ學校でも途中の落伍者を豫想して

◆各驛には 職員を派遣してあつたが何等其手を煩はす事も無く仁川へ著いても仁川女學校の校庭でラケツトを振り廻すやら坂を上つて各國公園へ行くやらで夫々の元氣であつた、女學校でも

◆此の旅行 で女子と雖も相當の訓練さへ積めば男子に比して餘り劣らぬ體力を得る事が出來ると云ふ確信を得毎月の遠足會が生徒の體育に多大の効果のあつた事を認めたさうだ

◎生活難から わが子を生埋

京畿道水原郡飛鳳面紫安里李富積（三）は無資産の中に五名の家族ありて日傭稼にて辛くも一家の糊口を支へ居るも昨今物價は騰貴し雇つて呉れる人は無く殆ど絶命の折柄とて本年舊二月十五日豫て知合ひなる同郡正南面貫岳里李文汝方に到り事情を訴へて泣きつき暫時でも雇ひ呉れと懇願せしも生憎同家にも既に二名の傭人ありて謝絶されしより同十七日歸宅の途中つくづく此世を悲觀し到底多數の幼兒を養育することは覺束なきより寧ろ殺害せんと決心し背負ひゐたる長女容福（五）を正南面龍水里の山中に連れ行き穴を掘りて生埋めにして殺害したること發覺して同人は先頃水原署に檢擧され京城地方法院の公判に附せられたり

◇軍人後援會 ＝十九回總會開催

伏見總裁宮令旨を賜ふ

帝國軍人後援會にては九日午後二時より築地水交社に於て總裁伏見宮貞愛親王殿下の御台臨を仰ぎ第十九回通常總會を開催されたる會長大隈侯爵病痾不參につき副會長堀内中將開會を宣し松村總務部長大正六年度事業報告あり次で役員改選及び補缺選擧を行ひ畢つて總裁宮殿下の台臨を仰ぎ一同起立中に優渥なる令旨を賜はり次で堀内副會長奉答を爲し引續き寺内帝國在郷軍人會長、加藤海相、大島陸相、水野内相の祝辭あり三時閉會を宣したり

來賓東郷、井上兩元帥をはじめ寺内在郷軍人會長加藤海相、大島陸相、土方伯、加藤子、上原參謀總長、島村軍令部長、吉松、野井兩軍事參議官、井上府知事、田尻市長等あり（東京）

◎懸賞募集 建築案審査

本社が時代の要求に應じて廣く江湖より懸賞募集をなしたる防寒建築案は幸に多大なる歡迎を以て實に百四葉の應募案を見るに至れるが其審査に就ては審査員各位の都合上延引し來りたるも愈々五月十二日より各審査委員審査に著手し先づ全部より四十葉を豫選し更らに其内より十四葉を選擇し愼重審議各等を決定する筈なれば採決の際は直に圖面設計書を本紙上に掲載すべし

◎不都合極まる相生丸

遭難者憤激して語る

可哀相な遭難小學生＝水泳の心得が必要だ

既電五日午前八時愛媛縣三津ヶ濱沖に於て…相生丸沈沒多數死者を出したる…中に遭難し幸にも無事救助されたる船客の一人は語る

當時の事を追懷するとホントに夢のやうで私達は其時甲板の上で本を讀んでゐたが最初右舷が傾むいた時怪しいなと思ふと漸次斜になつたから安心してゐると今度は反對に左舷に傾斜して僅か

▽三分間で 沈沒して了つた婦人や小供は助けて呉れ〳〵と悲鳴の聲を放つたが私達は幸ひ水泳の心得があつたので更に慌てず洋服を著た儘波に浮いてゐた歩み板に縋つて救助船の來るのを待ち漸く濱に辛うじて上陸したが其處は漁村で漁民は勿論消防組や青年會員などが出て諸所に焚火をなし又は衣類なども持出して待つて居り遭難者を親切に介抱して呉れた

▽原因は全く 客人や荷物の限定以上積載の爲めで殊に船脚の頗る輕い船であつたから其れにも係はらず非常汽笛を鳴らしたのは大分後のことで船長以下乘組員は客人を省りみずに自分達が逸早く逃げ出すといふ不都合極まるものであつた積載荷物の主なるものは叺入れの箱四十叺ばかりあり之が沈沒の因を成すとともに遭難者は之に取縋つて生命を全うしたのである遭難場所は乘船地より約十丁許りの沖合で

▽天氣快晴 海洋平穩の日であつたから被害の程度も少かつたが之が風雨若くは夜間であつたなら隨分大騷ぎであつたらう當時乘合せてゐた水兵の活動振りも目覺しかつた船員の無責任なる態度に反し濱沿岸民の親切には實に感謝せざるを得ません救助船は本船の沈沒箇所よりも早く沈沒の模樣を知つて沿岸から四挺櫓で漕ぎ付け又附近に出漁中の漁船も來て呉れました可哀相なのは

▽小學兒童 で男兒よりも女兒の方に水泳を心得た者が多かつたやうです水泳といふことは誰にも必要です漁民夫が遭難者に梅干を呉れたり上等の衣類を貸して呉れたりしたとは特筆大書して感謝すべきで此いふ際に編上靴を穿いてゐたりモスリンの帶をしてゐると困るもので私が或婦人がモスで兒を背に結んで負ながら游いでゐるのを解いて助けてやらうと思ふと何うしてもモスが解けず困つた編上靴も脱ぎ難くて難儀したがマア無事に命を拾ひました（門司）

◎五月場所 大相撲 初日

＝東京支局特電＝

勝	決り手	負
若葉山	突き倒し	野州山
友の浦	押し切り	金龍
御西山	寄り倒し	太刀嵐
錦洋	吊り出し	大の里
大蝉山	掬ひ投げ	宇都宮
八甲山	引き分け	矢筈山
綾川	捻り	黒瀬川
一港花	捻投げ	兩國山
常陸川	下手投げ	明石
藤の川	突き放し	對馬洋
九州山		浦の濱
中入後		
福柳	掬ひ投げ	鳳
琴ヶ浦	押し倒し	岩木山
達ヶ嶽	突き出し	敷島
逆ノ矢	突き出し	土州山
釋迦ヶ嶽	寄り切り	鬼鹿毛
大ノ高	寄返し	錦島
駒泉	吊り出し	大戶平
宮城山	下手投げ	大鳴門
三杉磯	寄り切り	源氏山
大門岩	引き落し	千葉崎
栃木山	切り返し	清瀨川

右の内▲御西山に太刀嵐は左四ツ太刀右の上手を引かんとするを▲西引かせず寄り倒して勝▲大の里に錦洋は興味ある取組なりしが鋭く突き立つるを里去なして叩くこと再三錦島渡泳ぎしも直ぐ立ち直り息をもつかず突き立て遂ひに突き倒して錦の勝は元氣▲宇都宮に大蝉はバッタリ右四ツ宇都宮左上手を引かんとするを蝉引かせず吊出しての勝は▲八甲山に矢筈山は突き合ひ右四ツとなるや矢筈進むを七俵際に大きく打つたる掬ひ投げ見事に定まつて八甲の勝は矢筈卿か評判負の氣味▲綾川に黒瀬川はガツキと左四ツ互ひに差手並びに右上手を引き合ひ黒瀬島渡吊を見せしまゝ更に動かずして水と爲りのち一揉み揉んで引分けはそれもよからん▲一港に兩國山は右四ツにてチヨツト寄り合ふ内兩高左上手を引かんとするを見事に捻つて一の勝▲常の花に明石は常の突張りの胸に明石四ツとなるや突嗟に十八番の捻投を打て常の勝は綺麗

▲對馬洋に藤ノ川 は左四ツ弱引に吊身に寄進むを下手投げ見事に定り藤の勝は大出來といふべし▲九州山に浦ノ濱はチヨツト突き合ひ浦左を淺く差せば九も同じく左を淺く差して猛烈に寄進み浦が土俵際に廻り込まんとするを追ひ詰め寄身に突き放して九の勝

▲福柳に鳳 は何人も鳳の勝を信じて疑はざりしが福立ちも上りさま素早く二本差して出るを鳳門に絞つてその〻强引に極め出さんとするを土俵際に左から掬ひ投げを打つて見事福柳の勝は初日早々大番狂はせにて滿場の喝采を博したり▲駒泉に大戶平は駒例の通り上突張りを連發鋭く攻めつくるを大戶揃いて左四ツに亙るや駒吊り身に寄り進み吊り出したるとき大戶下手投を打つても遲く駒の勝

▲宮城山に大鳴門 は鳴門突張るを宮城揃いて素早く二本差となれば鳴門兩上手を引いて吊を試みしが利かずチツクリ機を窺ふ内鳴門再び吊り進むを宮城体へつゝ下手投げを打つて宮城の勝

▲源氏山三杉磯 當日第一の好取組にして本社勝負豫想懸賞の好取組たり喝采聲裡に立ち上るや源氏素早く右を差し更に左を差さんとするを三杉防ぎつゝ左上手を引いて寄り合ひ三杉右を差さんとするを源氏防ぎつゝありしが三杉遂ひに右を差すや泉擬を見せて吊身に寄り切り三杉の勝は目覺しき大相撲なりき

▲大門岩千葉崎 大門の懐ろに突いて押すを千葉土俵を廻つて殘しつゝ右を差さんとするを大門差させず飽くまで諸筈に構へて押せば千葉敵の二本差を門に極めんとする際大門逃身に引き落しての勝は大喝采▲栃木山に清瀨川は左四ツ栃木吊るを見せ清瀨の体ふる所を切り返して栃木の勝にて六時廿分打ち出したり

▲二日目取組

白岩―大蝉　明石―敷島
御西山―岩木山　友ノ浦―宮城山
錦島―三杉磯　大鳴門―藤ノ川
大ノ里―大ノ高　逢ノ矢―源氏山
朝潮―千葉崎　浦ノ濱―栃木山
常ノ花―鳳　福柳
中入後
琴ヶ浦―鬼鹿毛　矢筈山―清瀨川
宇都宮―綾川　大門岩―八甲山
土州山―黒瀨川　大戶平―大潮
一洋川―逆鉾　對馬洋―釋迦嶽
兩國山―駒泉　九州山―鳳

軍隊拂下品販賣 ▲被服類一式 ▲發店特製品 ▲合服類一式 ▲中古品 ▲和服、洋服類春向夏物一式 右特別勉强販賣仕候

◎特別賣却 二噸製 製氷器 壹臺 京城府龍山元町二丁目 金子奧市商店 電話長一〇五番 振替京城三八二三 ▲尚不用品精々勉强買入可申候

京日案内 普通 一回前金 一行五十錢 番外 一回前金…

▲店員入用 齡廿三歲位三名… 西大門驛前

⑨外勤希望者…

貸家 洋館延坪…

店員入用 十七八歲より廿五六歲まで 京城本町二丁目 Ⓗ平田商店 85

店員入用 十五六歲より二十歲まで 京城本町二丁目 松菊屋小間物店 83

○はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 24

舊恩給 …櫻井町一ノ一九八 博多屋本店 66

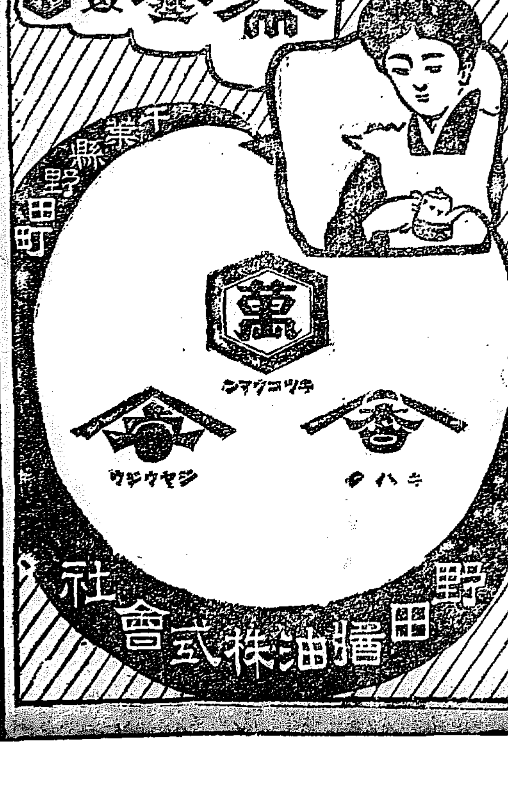
社員招聘 …外交の確信有紳士…京城府南大門通一丁目 大同生命保險株式會社京城支部

靜岡名産 わさび粉 湯で溶し…京城永樂町一 商店 63

製造元とのやくそくで 砂糖、麥粉、茛、金巾、燐寸、石油、羊蠟燭、釜、紙、乾物、罐詰、ビール、サイダー、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其他一日鮮人向雜貨食料品 割の安い品そろいの 大おろし店 仁川本町 河野本店 電話二八番 振替京城一二一番

驚くべき薬力 イカイ胃散は一時的の消化藥にあらず、根本的に胃を强壯にし消化力を増進す、一度イカイ胃散を服用せば、胃に無限の爽快を覺ね、胃病に特有の不快の感は消失し、食慾と元氣は著しく増加すべし 定價、十五錢、卅錢五十錢、壹圓、貳圓 大阪市江戶堀 本舗 猪飼史郎藥房 賣捌所…各藥店にあり

資本金參百萬圓 明治三十八年設立 當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候 京城府南大門通壹丁目十四番地 株式會社 漢城銀行 長 男爵 李允用 專務取締役 韓龍相 支配人 石鎭衡 電話 二一六四三番 二三九番 振替京城一二六 支店 水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山 出張所 鍾路、東幕



花吹雪

大阪 中谷青霞

（二十九）

香雨は讃十郎が眞綱で首の述懐に、恨めしうも思ふとの一言、少なからず、恐縮したが、爰で平凡な挨拶しては身の破滅にも及ばう大事と、一生の智慧袋絞り出した體で、とゝでと膝を進ませ乍ら。

『御尤の仰せ、一應のお道理武士の意地とあらばさうおはさうに一點非はござりませぬ、なれどそはへ武道一遍の御分別、御親子の情とおざらば恐れながらさうのみも申されませぬ、若し御様世にお在さば一端は御無念にも思召さうが

策と考へ、心ならずも引返し御注進申したは全く兵馬様お身の安泰を願ふばかり、理非もない負傷猪には及の向けやうもござりませぬ。且つは某共ばかりの逆引でもござらば持腐らした身の可い死に場所、命知らずの和郎ばかり、猪武者とて退かうやうはござりませぬが、腰からぬお身の兵馬様を引抱へての遂引は此方に五分も八分もの弱身、無念を呑んで退きました右の次第、お怨みはさることでござりませうなれど、これが兵馬様敵なうも美事斬死なされたならば

さばかり某をお怨みもござりますまいと、濟越ながら胸算まする。有様あの夜の體たらく、相手は名に負ふ月岡の鬼清兵衛、腕づくとあつては無念乍ら某とても及びませぬ、其の上に主の主税之助を先きに踏へして足手纏ひなら捨鉢の强腹、爭がへば手もなう此方が敗を取つて自然兵馬様お身にも不測の事おはしては大事の上の大事、究竟某共が彼是爭がへば根が身の輕い町奴と侮り、手痛くも振舞ひますれ、兵馬様お一人とあらば陪臣ものゝよも傷め申すやうの事もなく、萬一の事おはして公儀の御沙汰ともなり兩家の確執を惹き起すやうの向先見ぬ馬鹿でもない淸兵衛、其上御酒召上つてとも見ゆる兵馬様、こりや却つて一人お殘し申しお邸の衆を迎へてから如何やうとも遂引くが安全無二の

今こそ左は仰するものゝ、御親子の情、香雨如何やうとも一先づ其場を堪へて生きて蹟さばなどお怨みは必定、負はされたでもない傷で一兩日の御臥床、御快癒なされてある今日、其上のお怨みは香雨甘んじてお受けいたしまする心底、御賢察願はしうござります。』

我乍ら天晴れ恰しくも云ひ出した香雨、讃十郎の面をシタリ顏にじつと見上げた香雨、默れこの腰拔奴が何をほざくと一喝、猛虎の吼ゆる頭から吹かさと思ひきや、これは又思ふ仔細ばしあるにや、讃十郎は眼を閉ぢて熟々聞き終りに領いて。

『成程、云やれば然うもあらうか過ぎたるは猶及ばざるに如かずとやらぢや、死んでは花も實もないこと、香雨こりや讃十郎が愚痴ぢやつたわ、して其一矢を酬ゆる策略と云ふが汝に何か存じ寄りの胸算もあるか、憚りなら云うて見やれ、讃十郎も有様まだその事には考へも及ばずにゐた仕儀ぢや、疾く云うて見やれ。』

日頃に似氣ない温言、身を傷けず家にも拘はらぬ町奴共が輕い命を玉に使うて、ならば一矢をと胸算む讃十郎、香雨は又建部の家を矢面に立て權柄押しに男を立てやうの目算、さらばとばかり膝を進めた。

品質本位 人參エキス チンキス 其他諸製劑 京城南大門通一丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三一六番

夏の乳兒 母乳と人工營養

母乳又は乳母の乳で育つ乳兒は春夏秋冬の四季を通じて特別に注意するを要しないが人工營養卽ち牛乳或は其他人工の營養品で育つ乳兒は初夏から晩夏にかけて最善の注意をしなければならない

▲牛乳其他人工的營養品は夏に向ふと兎角變敗し易い之れに加ふるに種々の原因で小兒は胃腸を害する事が多く隨つて消化不良症に罹るのである消化不良は、症狀が昂進すると治療が却々困難で危篤に陥る例が尠くない其故第一牛乳の良否を吟味し且つ稀薄方及び用量等を深く考へ成る可く飲ませ過ぎぬやうに注意する事を忘れてはならない次に人乳で育つ小兒に就いて注意すべきは母なり乳母なり兎角脚氣に罹り易い事である故に乳兒を抱へてゐる婦人は脚氣に罹らぬやう心掛けねばならぬ其れには先づ脚氣の出る恐れのある婦人は半搗米を喰べるか時々小豆飯を喰べるか何れにしても便通の良くなる食物を喰べるやうにし下等杯も濫氣の無いのを用ひて未然に防ぐ必要がある又假に不幸にして輕症の脚氣に罹つたとする此場合乳兒に何等の異常が無ければ何も憶てゝ其乳を廢するには及ばない先づ母若くは乳母の養生に注意しつゝ牛乳と母乳とを混ぜて與へれば宜しい方法は母乳と牛乳を交る〳〵飲ませるとか或は牛乳を二回其の後で母乳を一回飲ませるとか小兒の體の様子に依つて加減すれば宜いのである

▲併しながら小兒が脚氣を催して苦悶の色を見せたり或は足手等に水腫を來し果ては失聲より全く無聲となり上眼瞼が下に垂れて漸くやうなのは小兒脚氣の主なる徴候と心得て斯ういふ時は母乳を中止せねばならぬ事は勿論であるが總じて云へば脚氣で死ぬ小兒よりも消化不良で死ぬ小兒の數が遙に多いのである乳兒脚氣にも注意すると更にそれよりも一層消化不良を警戒する事が肝腎である而して人乳で育つ小兒には消化不良症に罹る例が少い事を考へ合せ母乳の代りに全部牛乳其他の物を用ひる時には細心の注意を拂はねば可愛い小兒を取返しのつかぬやうにして了ふ尚三四歳以上の小兒で今後注意すべき事は疫痢を筆頭に凡ての腸胃病である原因は未熟又は腐敗しかけた果物を喰つたり水を無暗に飲む事であるから飲食物に氣をつけ並に夜分力めて胸や腹を冷やさぬやうにせねばならぬ

日報歌壇

□牡丹咲く　潮二生

珊瑚樹の若葉なめて、逍遙な行けば海よりふき來る

牡丹咲く今宵あだなく語らばや耿き月もまだに婦らむ

見つともわかなき迄でに夕邊の道なし行けば思ひする

靜けゆらく雜木林を何處まで通らばよけむ心なごます

初夏の風に吹かれて錦山に居て行末を思ふ

夜もすがら薬用はいかにうらぶれる鬼城の山に夏も來たれば

初夏は酒の香を罵はしめ高須賀獄の面影しのばる

讀者の領分

▲山水郎人の洗濯は有名なるものなり鮮婦は一年間の約三分の二を之が爲めに費消す彼等は猛惡甚しくも水の流るゝ所は公有私有を問はず群を爲し終日洗杵を振つて一丁の所を穢す爲之流水を汚穢ならしむること甚し一何程府の掃除夫が拾はずもぼろ屑を散亂し溜汁を流下し其の不潔其の惡臭いに驚くべきものあり衛生上保護上すべきも御搦すへからず去り迚禁ずるは却て彼等の衛生を害するが故に此の際一定の場所を區切り一大洗濯物を公設し自他の便益を計られんことを切に望む（公益生）▲此度前記嘗て召集簡閲點呼規則發布せられたるが簡閲點呼を施行せられざるもの〻事項に（三）未教育補充兵にして點呼年次に該當せざるものとありますが如何なるものを申しますか私は四年の徴兵適齢にて第一乙種歩兵補充兵（未教育者）でありますが吾々も其の手續を要しますか讀者の領分にて御敎示を願ひます（未教育補充兵）▲本欄にはよく琵琶を彈つた人が木戸口で無禮なことを言つたといつて投書する者があるさそれに就いて又下らぬ對戰をする者がある一々掲載してゐると際限がないから當分琵琶の喧嘩は係りに於て預かることにしたそれから一つは何處の[illegible]

▲廣告▼

◎眞田前途悲觀 生産過剩に苦む

[illegible]度總輸入額一千七百五十萬反の五割卽ち八百萬反は輸入特許を得ることゝなれる[illegible]▲卽ち五百萬反は特許せらるゝを以て英米兩國に對する[illegible]七掛として三割の攪噩を休止し四[illegible]二千臺を運轉しつゝありと見れ[illegible]一日平均（一臺平均二反）[illegible]なり之れに前記の現在全國に於ける在荷九百萬反を加算すれば二千[illegible]百八十萬反に達する勘定にしてば一千餘萬反の大過剩を惹起する次第なるを以て我國輸出界は益なく[illegible]るを以て當業者は大に警戒を要すべく随つて其前途を悲觀せざるを[illegible]

[illegible]號二百五十圓[illegible]相場を現出したり[illegible]稀有の暴騰[illegible]るが果して[illegible]り此數千噸の安質母歴に配合せらるべき關係金屬の需用を增加する[illegible]强氣配を示し今後更に上押を見る可き形勢を示せり

ぬいめなしかや

富士印

東京 日本橋 近江屋 伴傳商店 振替東京六一六一番

特賣品

◎若柳印 本麻糸萠黄色 六疊釣 六八寸法 十一圓二十錢 八疊釣 七十寸法 十五圓十錢

◎常盤印 同 六疊釣 六八寸法 十四圓六十錢 八疊釣 七十寸法 十八圓四十錢

◎花白妙印 本麻白地無地 六疊釣 六八寸法 十一圓五十錢 八疊釣 七十寸法 十三圓六十錢

◎花眞砂印 本麻白地霜カスリ 六疊釣 六八寸法 十一圓 八疊釣 七十寸法 十四圓二十錢

◎天白妙 本麻白地無地 六疊釣 六八寸法 十二圓三十錢 八疊釣 七十寸法 十四圓二十錢

◎天眞砂印 本麻白地霜カスリ 六疊釣 六八寸法 十三圓 八疊釣 七十寸法 十六圓五十錢

香留小包料金 內地（六八）金拾六錢（七十）四拾八錢 臺灣樺太朝鮮支那（六八）五拾五錢（七十）六拾五錢

備考 代金引替小包は送料の外に拾錢增し

御注文の際御番號附記

營業品目錄 蚊帳各種 夜具、座蒲團 木揚めいせん セル地、近江上布 紹御羽織地 毛布、膝かけ 麻布、縁り布 疊表、花莚

星印ソース

今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる

本品は其品質と賣行とに於てソース界の明星なり

到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す

發賣元 大阪市 祭原伊太郎

內科 小兒科 入院隨意 小林醫院 京城旭町一丁目 電話六九二番

院長 醫學士 小林千壽

副院長 醫學士 北戸川武

永登浦分院 分院長 醫師 久保廣次

百円進呈

ばいりん 病毒（藥合請）

帝國醫科大學病院 分析料百圓進呈

にせ物 鑑製

大阪有田ドラッグ商會本部

京城 ドラッグ商會 支店

サクラ正宗

比較は最良の撰擇法なり!!

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話四八一・四九五・四四 番 振替京城五七番

ヒコーキ印粉劑消火器

官衙、銀行、會社、學校、家庭に必ず備へ付けらるべき消火器

定價一本金一圓 送料金十二錢

大發賣所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番 電話構內一八番

神經衰弱 特効 コーキリン

榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス

本品ハ帝國大學敎授本邦張自化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ

各地有名藥店ニテ販賣ス

東京室町 三共株式會社

GOSPEL 男女強壯 ゴスペール

神經衰弱性陰萎精神的陰萎 長弱性射精・早漏・夢精・遺精

吉田萬珠堂

きらが赤毛染 ナイス

自然の黒髪の色艶に染る

理想的の完全染毛料

五大特長 一僅か二十分で染まる 二染色漆黒艶美也 三洗ふて剝げず永保し 四襟に汚染の憂なし 五用法至極手輕便利也

價 大瓶七十錢 小瓶四十錢 新小三十錢

發賣 大阪 東京 丹平商會

▲事務服（洋服兩用）▼

黒毛米子製 金四圓四拾錢也

黑褐城製 金三圓四拾錢也

但丈三尺二寸と四寸の二種均一値段 送料鮮內拾貳錢外三十錢

京城太平通一丁目 京城日報社代理部

釜山出帆廣告

○和歌浦丸 立神丸 元山、清津、浦鹽行 月 日 後十時出

○立神丸 和歌浦丸 月 日 後五時出

○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三平安丸 五月四日 後六時出

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天晃丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆

○門司、宇品、神戶、大阪行 第三平安丸 五月 日 後六時出

釜山港 大池回漕部

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆

◎神戶、大阪行 油頭丸 五月十三日 後五時出

△日滿丸 五月卅一日 後五時出

△群山、神戶、大阪行 南部丸 五月 日 後五時出

元山出帆

◎西湖津、新浦、城津、清津行 安平丸 五月十七日 後十二時

◎釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 五月廿三日 後九時出

大連出帆

◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 五月 日 前六時出

基隆丸 五月十九日 後四時出

內地各港出帆主要航路

歐洲行 一年四回 南米行 一年四回 北米行 毎月一回 濠洲行 毎月二回 南洋行 毎月一回

御注意 京城 切符發賣所 大阪商船株式會社 仁川支店

朝鮮郵船出帆

○敦賀行 清津發城津元山經由 平壤丸 五月十七日 五月二十日 清津 元山發

○浦汐行 大阪發門司釜山元山城津經由 平安丸 五月十四日 五月十六日 釜山 元山發

○雄基行 忠清丸 五月廿五日 釜山發

×雌耶山丸 五月二十八日 元山發

○元山雄基線 鏡城丸 五月十六日 元山發

○大阪行 山陽丸 五月十七日 五月十九日 釜山 元山發

○關門行 京畿丸 五月十六日 五月十九日 釜山 元山發

○金剛山遊覽便 元山發

○鬱陵島行 蟠德丸 五月十五日 釜山發

○濟州島行 昌平丸 五月十七日 釜山發

○釜山浦項線 江陵丸、襄陽丸 毎日 釜山浦項發

○濟州島行 木浦發

○東廻 公州丸 五月十九日 木浦發

○西廻 慶興丸 五月十六日 木浦發

○釜山麗水線 巨濟丸、統營丸 毎日

○木浦麗水線 龜天丸 五月十四日 木浦發

○多島海行 公州丸 五月十四日 木浦發

○木浦行 寶慶丸 五月十四日 仁川發

○海州行 江丸、成歡丸 毎日一回 仁川海州發

○鎭南浦行 全州丸 五月十六日 仁川發

○南島行 江原丸 五月十八日 仁川發

○鎭南浦大連直行線 宗信丸 五月十五日 鎭南浦發

本社 京城南大門通（電話一九五〇） 釜山支店 元山出張所 木浦代理店 仁川港代理店 京城南大門驛前 松原運送店

日本郵船仁川出帆

大連行 天津行 相模丸 五月二十日 正午出

三河丸 六月九日

高砂丸 五月三十日

仁川港町十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行

神代丸 五月十五日 後四時出

秀吉丸 五月 日 後四時出

君代丸 五月廿三日 後四時出

大有丸 五月二十日 後四時出

仁川港通二丁目 高杉回漕店 電話五十九番

阿波共同汽船仁川出帆

青島直行 共同丸 五月 日 午後八時出

六十共同丸 五月 日 午前出帆

阿波共同汽船株式會社 本所四丁目（電話一七三番）

仁川代理店 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城代理店 河村運送店